

会 報

HOKKAIDO MACHINERY MANUFACTURERS ASSOCIATION


明日を拓く

2026年(令和8年)5月号(第273号)

VOL52 NO.2



使用済自動車部品などの資源リサイクルを通じて社会貢献する株式会社鈴木商会

 (一社) 北海道機械工業会

酸洗 専用工場 稼働中!!

処理のみでも引き受けます!!



小さいものから大きいものまで
酸洗可能です!!

株式会社 新興工業

本 社 〒063-0834 札幌市西区発寒14条3丁目1番1号
TEL. 011-664-5001 FAX. 011-665-5002

石狩工場 〒061-3244 石狩市新港南1丁目28-69
(第一工場) TEL. 0133-64-5001 FAX. 0133-64-5002



資源循環型製造業を目指す(株)鈴木商会(表紙から)

(株)鈴木商会石狩事業所では産業廃棄物やビルの解体現場などから生じる金属スクラップ、廃車になった自動車を解体し部品などを再利用する自動車リサイクルなどを行っています。

限りある貴重な資源を有効活用させることで地域・社会に貢献する同社の事業を紹介します。

(14頁掲載)

目 次

2025年度 第4～5回正副会長会議、第3回理事会及び派遣元との懇談会開催	2
2025年度 交流推進委員会の開催	4
2025年度 受注拡大対策委員会の開催	5
当会の受託事業から	
北海道内工業高校・退職予定自衛官ものづくり企業見学の実施	6
北海道内工業高校等 出前授業の実施	7
「企業間連携推進室」だより	15
ものづくり技術力強化エキスパート派遣制度	
2025年度 成果発表会「人手不足に対応するモノづくり」の開催	11
北海道機械工業会&室蘭工大コラボによる高度技術セミナー	
「生成AIは製造業の役に立つのか?」～生成AIの最新動向と活用	12
表紙から 鈴木商会石狩事業所	14
企業経営環境環境状況に関するアンケート調査結果(2025年10～12月)	16
当面の行事日程(5～7月)	29
部会だより	31
支部だより	45
会員加入状況	47
技術情報コーナー 道総研 工業試験場 試験研究コーナー	
宅内設置センサによる地域高齢者の見守り	48
お知らせ	
中小企業大学校旭川校 2026年5～7月開講研修のご案内	51
北海道職業能力開発大学校(ポリテクセンター)セミナーのご案内	52
事務局日誌	53
事務局退任挨拶(森永事務局長)	54
会報用登録事項変更届	55
あとがき	56

2025年度 第4～5回正副会長会議、 第3回理事会及び派遣元との懇談会開催

2025年度 第4～5回正副会長会議、第3回理事会などが次のとおり開催されました。
理事会は昨年に引き続き、会場とWeb参加を取り入れたハイブリッド方式で開催し、
より多くの方にご参加いただく形で各議案を審議しました。

【正副会長会議】

○第4回

日時 2026年2月3日（火）16:00～17:10

場所 ホテルモントレエーデルホフ札幌 12階「マーラー・ブラームス」

議題

〈審議事項〉

- ・第1号議案 2025年度収支予算の執行状況及び決算見込みについて
- ・第2号議案 業務執行見直しによる経費の削減状況について



▲ 第4回正副会長会議の様子

○第5回

日時 2026年3月18日（水）12:00～13:30

場所 ホテルモントレエーデルホフ札幌 12階「マーラー・ブラームス」

議題

〈審議事項〉

- ・第1号議案 2025年度事業計画及び収支予算の変更(案)について
- ・第2号議案 2026年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ・第3号議案 2026年度借入限度額(案)について



▲ 第5回正副会長会議の様子

【第3回理事会】

日時 2026年3月18日（水）13:45～14:45

場所 ホテルモンテレーデルホフ札幌 12階「ベルクホール」

議題

〈協議事項〉

- ・鉄骨部会から本部への負担金について
- ・鉄骨業界の新たな組織の設立に向けて

〈審議事項〉

- ・第1号議案 2025年度事業計画及び収支予算の変更（案）について
- ・第2号議案 2026年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ・第3号議案 2026年度借入限度額（案）について

〈その他〉

- ・当面の行事日程について



▲ 理事会の様子



▲ 今回もハイブリッド形式で開催しました

【派遣元との交流会】

当会事務局に職員を派遣していただいている派遣元との懇談会が開催され、北海道庁、北洋銀行、北海道銀行の派遣元から、北海道庁経済部水口部長など4名が出席され、近藤会長ほか正副会長と和やかに懇談しました。なお、会長からは引き続き、当会へ職員を派遣して頂くよう要望しました。

日時 2026年2月3日（火）17:30～19:00

場所 ホテルモンテレーデルホフ札幌 12階「ワグナー」



▲ 和やかに開催された派遣元との交流会

2025年度 交流推進委員会の開催

日時 2026年3月18日（水）

場所 ホテルモントレーエーデルホフ札幌 12階「ブルックナー/アルト」

出席者 阿部委員長ほか委員5名 事務局1名

内容 1. 2025年度 事業報告について

今年度は、当会・北海道バイオ工業会・北海道発明協会による「3団体合同企業視察会」を2回開催しました。

- ・第1回目は7月15日（水）に北海道発明協会主催で開催し、① 北斗工機(株)の本社工場および新社屋（日経新聞ニューオフィス賞受賞）と、② (株)テスクの外断熱工法（特許取得）を実際の工事現場で視察しました。（28名）

- ・第2回目は10月21日（火）に当会主催で開催し、① (株)NICHIJ〇での本社工場/稲穂工場における除雪車等の組立てラインと、② (株)池田歯車製作所の本社工場で大型動力伝達装置の製造現場を視察しました。（36名）

2. 2026年度 事業計画について

次年度も、当会・北海道バイオ工業会・北海道発明協会による「3団体合同企業視察会」を2回開催する予定です。

- ・第1回目は7月頃に北海道バイオ工業会主催予定で、視察先を現在選定中です。

- ・第2回目は10月頃に北海道発明協会主催予定で、同じく視察先を選定中です。

3. 交流推進委員 委員委嘱（継続）について

交流推進委員会 委員名簿 任期：2026年度～2027年度

					敬称略
	役職	氏名	会社名	会社役職	地区
1	会長	交流推進委員長	阿部 大祐	阿部鋼材(株)	代表取締役社長 札幌
2	会長	交流推進副委員長	松本 美久	榊本鐵工所	代表取締役社長 苫小牧
3	会長	交流推進委員	石川 健二	榊石川金屬製作所	代表取締役 札幌
4	会長	交流推進委員	残間 巖	(株)残間金屬工業	代表取締役社長 釧路
5	会長	交流推進委員	嶋村 清隆	札幌エレクトロプレイング工業(株)	代表取締役 札幌
6	会長	交流推進委員	高田 知明	北榮興業(株)	代表取締役社長 札幌
7	会長	交流推進委員	鶴巻 孝明	鶴巻工業(株)	代表取締役社長 札幌
8	会長	交流推進委員	中塚 力	岩見沢鉄骨工業(株)	代表取締役 空知
9	会長	交流推進委員	向井 深	北海道電気技術サービス(株)	代表取締役社長 札幌

計9名



▲ 交流推進委員会の様子

2025年度 受注拡大対策委員会の開催

日時 2026年3月18日（水）14:30～15:30

場所 ホテルモンテレーデルホフ札幌 12階「マーラー」

出席者 表委員長ほか委員5名、事務局1名

議題 1. 2025年度事業報告について

- ① 2025年度「ほっかいどう受発注拡大商談会」
- ② 半導体関連産業参入講習会
- ③ 第39回 北海道 技術・ビジネス交流会（ビジネスEXPO）
- ④ 青森・秋田・岩手・北海道 合同商談会2025
- ⑤ 半導体関連事業参入情報の発信

2. 2026年度事業計画（案）について

- ① 2026年度「ほっかいどう受発注拡大商談会」（札幌）
 - ・開催時期 2026年10月
 - ・場 所 札幌パークホテル 地下2階 パークプラザ
- ② 第40回 北海道 技術・ビジネス交流会（ビジネスEXPO）
 - ・開催時期 2026年11月5日（木）～6日（金）
 - ※出展申込みは5月中旬予定
 - ・場 所 アクセスサッポロ



▲ 受注拡大対策委員会の様子

当会の主催事業から

北海道内工業高校・退職予定自衛官 ものづくり企業見学の実施

人手不足が喫緊の課題の中、会員企業を中心としたものづくり企業への就業促進を目的に道内工業高校生徒及び退職予定自衛官を対象としたものづくり企業見学を実施しました。

ものづくり産業分野人材確保支援事業

●北海道札幌工業高等学校

開催日 2025年11月10日（月）

訪問先 (株)デンソー北海道、(株)ダイナックス

参加者 機械科 2年生 生徒65名、教員4名



▲ (株)デンソー北海道



▲ (株)ダイナックス

●自衛隊札幌地方協力本部（退職予定自衛官）

開催日 2025年12月5日（金）

訪問先 (株)マルキンサトー、(株)ワールド山内

参加者 隊員10名、引率14名



▲ (株)マルキンサトー



▲ (株)ワールド山内

●北海道函館工業高等学校

開催日 2025年12月10日(水)

訪問先 三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)、(株)キメラ

参加者 電子機械科2年生 生徒39名、教員3名



▲ 三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)



▲ (株)キメラ

ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業

●北海道函館工業高等学校(定時制)

開催日 2025年11月7日(金)

訪問先 (株)西川工業所

参加者 電子機械科(定時制)1~3年生 生徒23名、教員3名



▲ (株)西川工業所による企業見学の様子

●北海道釧路工業高等学校

開催日 2025年11月12日(水)

訪問先 (株)ニッコー

参加者 電子機械科2年生 生徒35名、教員1名



▲ (株)ニッコーによる企業見学の様子

●北海道旭川工業高等学校

開催日 2025年11月14日(金)

訪問先 (株)シンセメック、(株)NICHIJŌ

参加者 電子機械科2年生 生徒32名、教員2名



▲ (株)シンセメック



▲ (株)NICHIJŌ

ご協力いただきました訪問先の皆様には、丁寧な企業概要説明と工場内見学の機会をいただきました。各参加者からは、大変好評で進路・就職を意識するきっかけづくりの一つとしてとてもよい経験となりました。

過去には参加した学校の生徒が実際に訪問先企業へと就職したこともあり、着実に実績も残しております。ご協力いただきました企業の皆様には、多大なるご協力をいただきまして、感謝申し上げます。

北海道内工業高校等 出前授業の実施

人手不足が喫緊の課題となる中、会員企業への就業促進を目的に道内工業系の高校生を対象としたものづくり「出前授業」を以下のとおり実施しました。

講師として、会員企業の皆様をお招きし、会社概要ならびにもものづくりに関わる業務内容やその魅力について紹介いただきました。

ものづくり産業分野人材確保支援事業

●北海道富良野高等学校

開催日 2025年10月29日(水)

対象生徒 電子情報システム科1～2年生 生徒26名、教員3名

講師 (株)ASCe 清水 貴文氏、鈴木 源基氏



▲ (株)ASCeによる出前授業



▲ 質疑応答の様子

●北海道帯広工業高等学校

開催日 2025年11月28日(金)

対象生徒 電子機械科1～2年生 生徒75名、教員3名

講師 トヨタ自動車北海道(株) 齋藤 和憲氏、梅原 慶介氏、荒木 功成氏
インターステラテクノロジズ(株) 小谷 将太氏



▲ トヨタ自動車北海道(株)



▲ インターステラテクノロジズ(株)

各社による出前授業の後、2社によるトークセッションを実施しました。



ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業

●北海道函館工業高等学校（定時制）

開催日 2025年11月7日（金）

対象生徒 電子機械科（定時制）1～3年生 生徒23名、教員3名

講師 （株）西川工業所 西川 正義 氏



▲（株）西川工業所による出前授業



▲ 会場全景

●北海道北見工業高等学校

開催日 2025年12月3日（水）

対象生徒 電子機械科1～2年生 生徒46名、教員4名

講師 いすゞエンジン製造北海道(株) 大谷 謙介 氏
日本製鋼所M&E(株)室蘭製作所 高津 秀紀 氏
(現：(株)日本製鋼所 室蘭製作所)



▲ いすゞエンジン製造北海道(株)



▲ 日本製鋼所M&E(株)室蘭製作所

授業後各生徒・教員からは大変好評で、生徒たちの進路を意識するきっかけづくりの1つとして、とても良い機会となりました。

今回の出前授業実施にあたり、ご協力いただきました企業の方々には、多大なるご協力をいただきまして、感謝申し上げます。

「企業間連携推進室」だより

ものづくり技術力強化エキスパート派遣制度 2025年度 成果発表会 「人手不足に対応するモノづくり」の開催

当会では本年度、北海道の委託事業「ものづくり産業分野人材確保事業（専門家派遣・成功事例創出）」を受け、道内ものづくり企業を対象とした「ものづくり技術力強化エキスパート派遣制度」を実施いたしました。この度、本事業の集大成として、「成果発表会」を開催いたしました。発表会当日は、基調講演に続き、派遣を受けた企業の中から代表して3社に登壇いただき、それぞれの課題解決に向けた具体的なプロセスを披露していただきました。当会では、今回の成果を広く共有することで、道内ものづくり産業のさらなる技術力強化と、魅力ある職場づくりによる人材確保を引き続き支援してまいります。

日 時 2026年2月5日（木）14:00～16:10

場 所 ジョブキタプラザ 6F会議室

（札幌市中央区南1条西6丁目20-1 ジョブキタビル6F）

主 催 北海道、（一社）北海道機械工業会

参加者 会場 20名（事務局関係者、エキスパート含む）

オンライン 24名

計 44名

内 容：

- (1) 開会挨拶 (一社)北海道機械工業会 専務理事 安田 直樹
- (2) 技術力強化エキスパート派遣制度の概要について 企業間連携MG 飯田 憲一
- (3) 基調講演「採用活動の健康診断しませんか？」
技術力強化エキスパート 土谷 涼平 氏
- (4) 成果発表

<テーマ>

<発表企業>

<発表者>

- ①「ダイカスト製品の品質改善、生産性向上の取組」 ホクダイ(株) 高橋 宏明 氏
- ②「建具製作工程におけるカイゼンの取組」 (株)岡田建具製作所 前田 正 氏
- ③「オープン機能付き焚き火台の新製品開発」 (株)北海道スクリーン製作所 佐藤 賢治 氏



▲基調講演(土谷氏)



▲ホクダイ(株)



▲(株)岡田建具製作所



▲(株)北海道スクリーン製作所

北海道機械工業会&室蘭工大コラボによる高度技術セミナー 「生成 AI は製造業の役に立つのか？」 ～生成 AI の最新動向と活用

近年、文章や画像、プログラムなどを自動生成する「生成AI」は、製造業においても設計支援や品質管理、業務効率化など、多方面で活用が進みつつあります。しかし一方で、「どのように導入すれば効果的なのか」「自社の業務に本当に役立つのか」といった疑問の声も多く聞かれます。

今回のセミナーでは、「生成AIは製造業の役に立つのか？」をテーマに、3名の専門家をお招きし、生成AIの最新動向や実際の活用事例について、ご講演いただきました。会場には多数の参加者が集まり、大変有意義なセミナーを開催することができました。

日時 2025年12月11日(木) 13:30~16:20

場所 北農健保会館 3F 芭蕉(札幌市中央区北4条西7丁目)

主催 (一社)北海道機械工業会(自動車関連部会、機械製作部会、札幌支部)
室蘭工業大学 MONOづくりみらい共創機構

参加者 会場 21名(講師、関係者含む) オンライン 38名 計 59名

内容

- (1) 開会挨拶 (一社)北海道機械工業会専務理事 安田 直樹
- (2) 『生成AIとは?～技術的基礎とその応用～』
室蘭工業大学 クリエイティブコラボレーションセンター 教授 渡邊 真也氏
- (3) 『AIやChatGPT等の現状と活用事例』
(地独)北海道立総合研究機構 工業試験場 産業システム部 情報システムG 主査 全 慶樹氏
- (4) 『製造現場のDXを加速! ChatGPTだけじゃない、生産性を変える生成AI最新ツール』
TDC Nexus 合同会社 代表 妹尾 飛翔氏
- (5) 閉会挨拶 室蘭工業大学 MONOづくりみらい共創機構
副機構長/地域共創オフィス長/教授 吉成 哲氏



▲ 講師(渡邊氏)



▲ 講師(全氏)



▲ 講師(妹尾氏)



▲ 会場の様子

金属などのリサイクル事業を通じて 循環型社会の実現を目指す株式会社鈴木商会

(表紙より)

鈴木商会石狩事業所では、道内各地から1日200台前後のトラックで搬入された資源をリサイクルする資源リサイクル事業・ELV事業・家電リサイクル事業を行っています。

このなかのELV事業では、使用済自動車(End of Life Vehicle)を解体し、金属や樹脂などを再資源化する自動車リサイクル事業を行っています。この事業には4つの行程があり、まず入庫した車輛の状態を確認し必要事項をシステムに登録後、前処理作業に入ります。エアバック、バッテリー、エアコンのフロンガスを適切に回収・処理。次に「液抜き」としてガソリン、クーラント、エンジンオイル等を回収。回収したガソリンは社用車や構内のフォークリフトに再利用、エンジンオイルは廃油として処理業者に販売しています。その後エンジン、ライトなどの中古部品、再利用可能なタイヤは国内外の中古市場に出荷。最後に、部品回収が終わった車両は重機で金属、それ以外の素材に選別され、大型シュレッダープラントで破碎されます。中古部品は2名の職員が1日約100点を取り外し、状態を調べてデータ化し、ヤフーオークションやメルカリなどのネットサイトで販売しています。

2026年4月に施行された資源有効利用促進法改正により、自動車メーカーに再生プラスチック利用が義務化されたことで、これまでは廃車から出たプラスチックは「廃棄物」だったのが「有効資源」へと変わっていくものと思われます。再生材製造には異物除去、素材選別など難しい面も多いものの、この事業所にはその工程をワンストップで実現できるスタッフ、設備が整っています。



▲ 場内には約500台もの車両を収容



▲ 部品回収済車両は重機で金属類と他素材に選別

▲ ずらりと陳列されている中古部品

このほか同事業所では資源リサイクル事業、家電リサイクル事業を展開しています。資源リサイクル事業では集められた金属スクラップを鉄、非鉄金属に仕分けし、鉄スクラップはシュレッダープラントで破碎。不純物を取り除くため、破碎後には磁器選別を行い、鉄のみを取り出すという精緻な技術が求められます。この鉄リサイクルも経済産業省などが取り組む「GX推進のためのグリーン鉄」などに大きく寄与することが期待できそうです。石狩事業所の家電リサイクル事業では家電メーカーAグループ（パナソニック、東芝など）の冷蔵庫、洗濯機、エアコンから金属類、プラスチック類を取り出し、再資源化に取り組んでいます。またリサイクル処理の際、環境負荷物質であるフロンはフロン回収・破壊法に則り、適切に回収しています。

様々な資源をリサイクルすることで地域、社会に貢献する同社。スローガンにも掲げている「その、つづきを」期待しましょう。



▲ 金属スクラップを粉碎し、鉄、非鉄金属に仕分け



▲ 高さ30mの大きなシュレッダープラントが立ち誇る石狩事業所

株式会社 鈴木商会

石狩事業所：石狩市新港中央3丁目750番地7
TEL 0133-64-1877



企業経営環境に関するアンケート調査結果

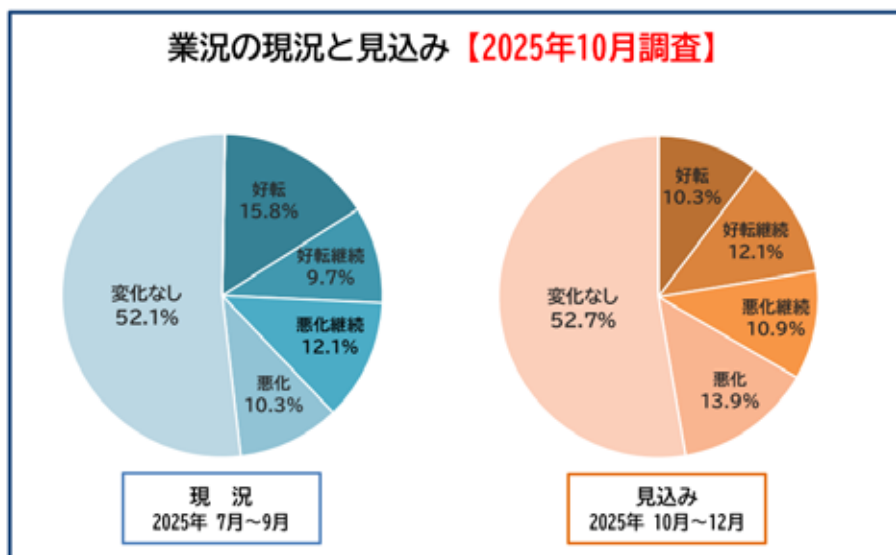
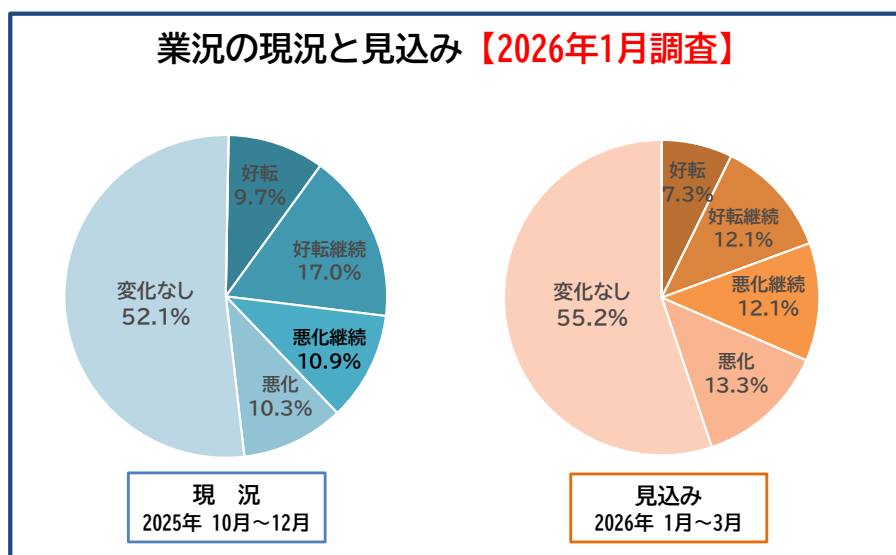
当会では毎年四半期に1度、会員企業の皆様に道内の製造業の経営状況を把握するためのアンケート調査を実施いたしました。アンケートは327社に送付、165社から回答をいただき厚くお礼申し上げます。

2026年1月（2025年10月～12月対象）の調査結果につきまして、前回調査時（2025年7月～9月対象）と比較し、現況が「悪化が継続」、「悪化」しているとした企業が21.2%（1.2ポイント減）となっており、「好転」、「好転継続」いているとした企業は26.7%（1.2ポイント増）となっています。

今後の見通しについては、「変化なし」と見る企業が55.2%（2.5ポイント増）、「悪化」、「悪化継続」と見る企業が25.4%（0.6ポイント増）、「好転」、「好転継続」と見る企業は19.4%（3.0ポイント減）となっています。

前回調査時と比較して、実績で「好転」、「好転継続」しているとした企業が増加した一方、見通しでは「悪化」、「悪化継続」と見る企業が増加傾向となっています。

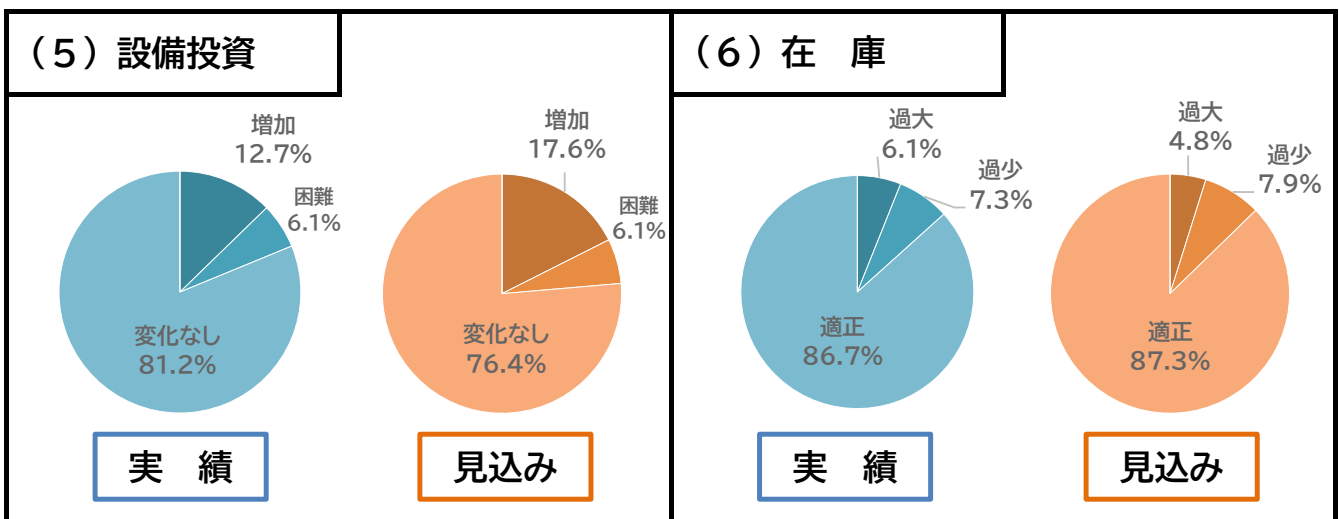
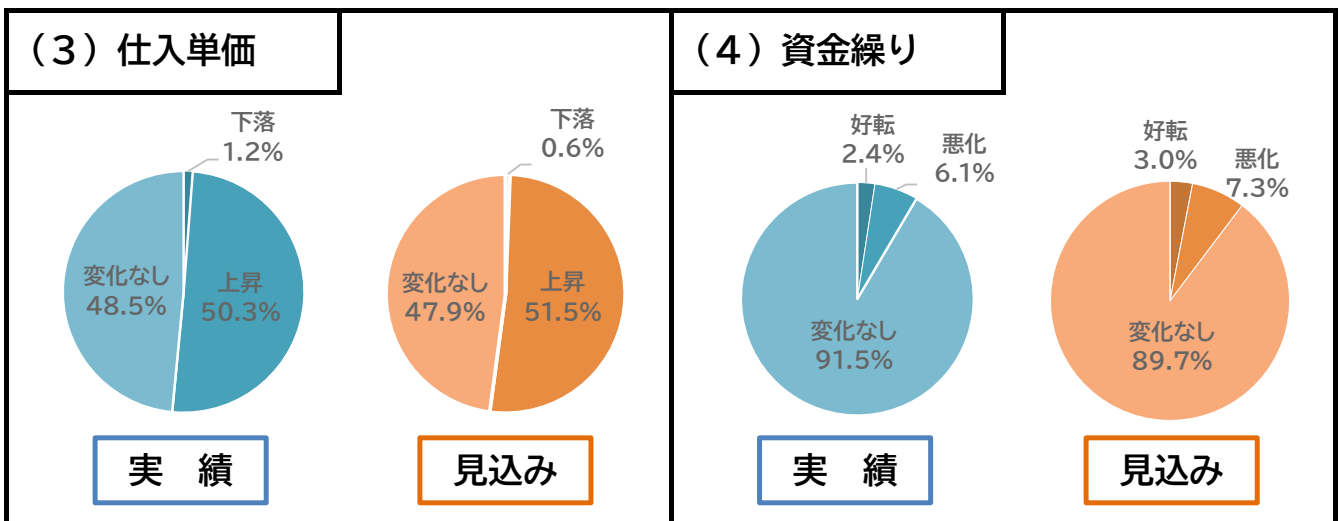
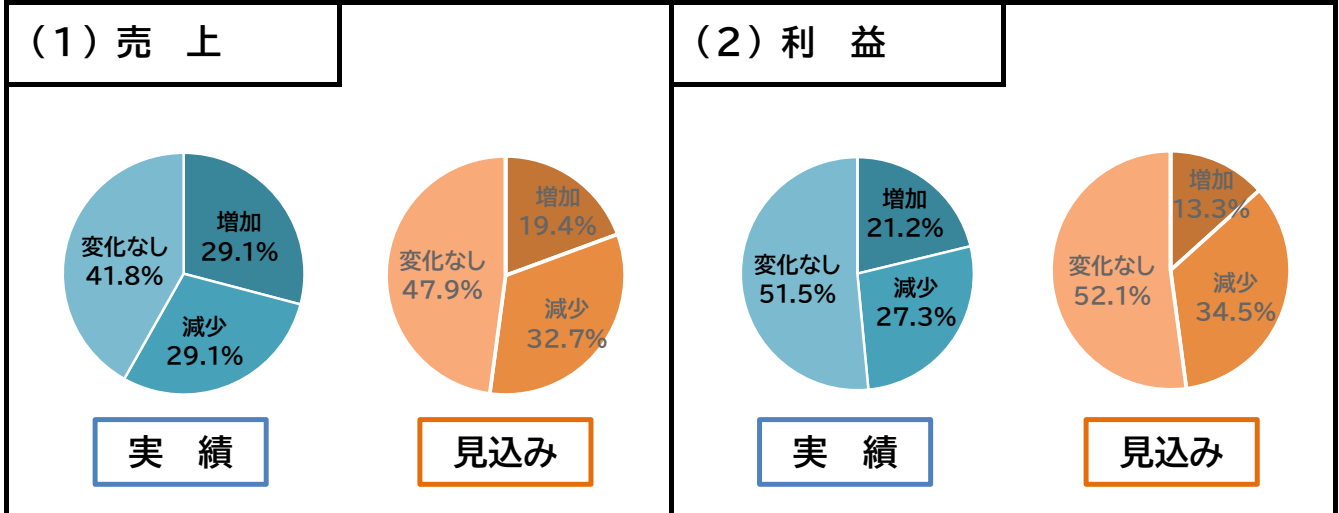
この調査結果は北海道に提出し、今後の行政施策等に活用して頂くこととしています。引き続き、調査にご協力よろしくお願いたします。



◆ 業況項目別 ◆

回答企業：165社

実績 (対 前回調査比)	2025.10月～2025.12月	見込み	2026.1月～2026.3月
-----------------	-------------------	-----	-----------------

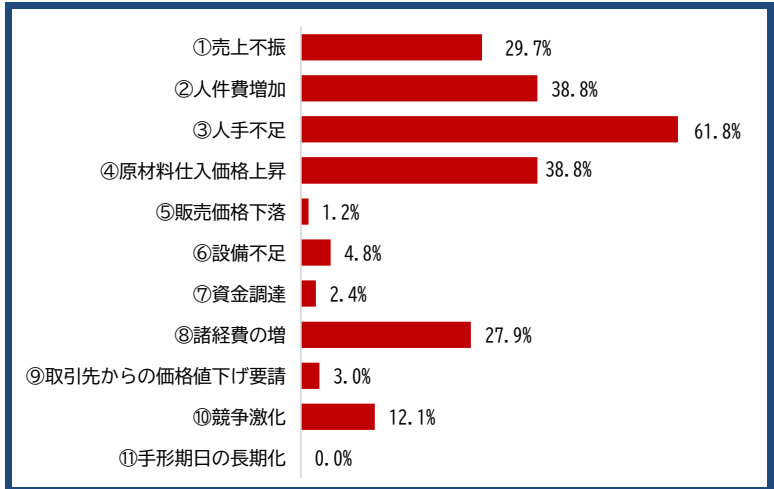


◆ 当面の問題点 等 ◆

回答企業： 165 社

当面の問題点 (3項目以内 複数回答)

項目	回答数	割合
①売上不振	49	29.7%
②人件費増加	64	38.8%
③人手不足	102	61.8%
④原材料仕入価格上昇	64	38.8%
⑤販売価格下落	2	1.2%
⑥設備不足	8	4.8%
⑦資金調達	4	2.4%
⑧諸経費の増	46	27.9%
⑨取引先からの価格値下げ要請	5	3.0%
⑩競争激化	20	12.1%
⑪手形期日の長期化	0	0.0%
合計	367	—

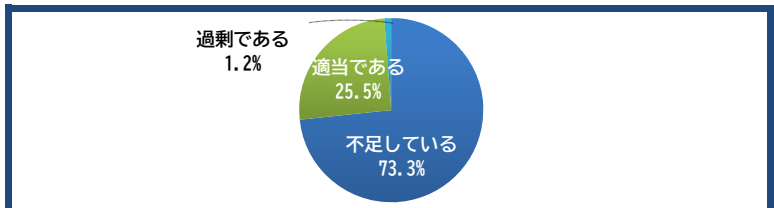


人手不足について

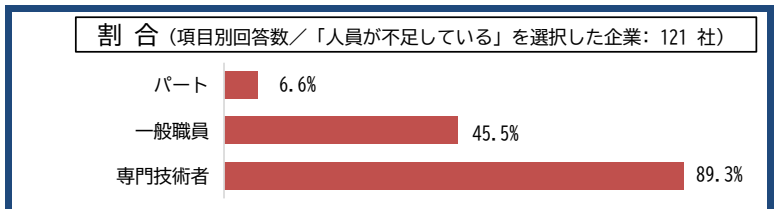
① 人員について

(複数回答)

項目	回答数	割合
不足している	121	73.3%
適当である	42	25.5%
過剰である	2	1.2%
合計	165	100%



項目	回答数	割合
パート	8	6.6%
一般職員	55	45.5%
専門技術者	108	89.3%
合計	171	—

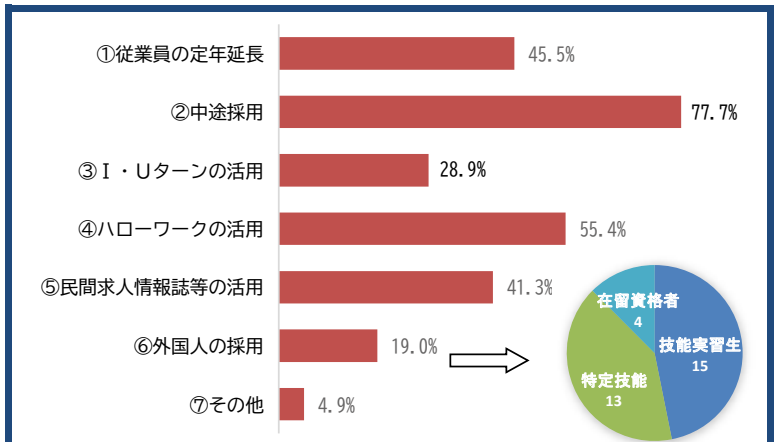


② 人手不足に対する対策について

(複数回答)

項目	回答数	割合
①従業員の定年延長	55	45.5%
②中途採用	94	77.7%
③I・Uターンの活用	35	28.9%
④ハローワークの活用	67	55.4%
⑤民間求人情報誌等の活用	50	41.3%
⑥外国人の採用	23	19.0%
技能実習生	15	—
特定技能	13	—
在留資格者(専門的・技術的)	4	—
⑦その他	5	4.9%
合計	329	—

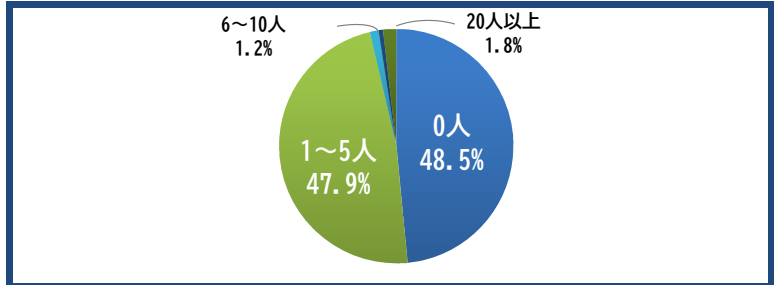
(①で「人員が不足している」を選択した企業 121社)



人手不足に対する対策 その他記述
・外注委託により自社作業量を低くしている
・外注対応
・社員からの照会、退職者キャリアリターン、派遣社員
・ヘッドハンティング
・バイトの活用

③ 2025年10月からの採用人数について

項目	回答数	割合
0人	80	48.5%
1～5人	79	47.9%
6～10人	2	1.2%
11～20人	1	0.6%
20人以上	3	1.8%
合計	165	100%



道の施策に対する意見や要望事項

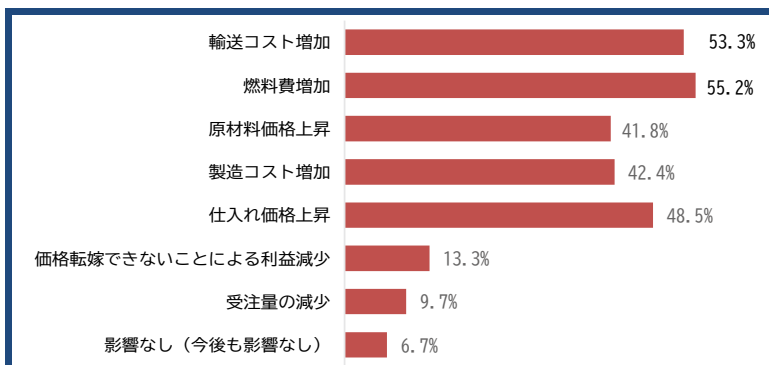
- エネルギーコスト（電気、灯油など）の高止まりへの補助金を継続願いたい。
- 電気料金の値下げ
- 電気料等補助金あれば
- 電気料金軽減策の充実
- 電気、油（軽油）等の引き下げ
- 補助金継続、電気料金、ガソリン、軽油料金の見直し
- 補助金の充実
- 製造業に対する他府県並みの設備補助をお願いしたい
- 建物・設備の補助金制度を要望としています。
- 設備投資における補助の採択を簡単にしてほしい
- 老朽化した工場建物の建替えに使用可能な補助金などの情報
- マッチングの機会を増やしてほしい
- 北海道全体の活性化
- 北海道の人口を増やす為、魅力ある街づくりを目指していただきたい。
昨今は物価高の上昇がありながら円安の影響により外国人観光客が多い為、テーマパーク等を設置し年間通して誘致できる環境が望ましいと考える。是非、旭川近郊（道北！！）で検討いただきたい。
- 中小企業への支援策は沢山ご用意頂いているが、要件が少し厳しいと感じます。
（賃金の平均成長率が5年長期に渡るなど… 助成金が、従業員の賃金に転換されるべきという趣旨は理解するものの、企業への助成にはなっていない）言葉通り中小企業を支援するのであれば、例えば省力化補助金などは設備投資を行う企業に対して今後上昇していく借入金利への直接的な支援などがあれば、より多くの中小企業が積極的に設備投資を行うのではないかと感じます。

原油価格の高騰に伴う影響について

【原油価格の高騰に伴う具体的な影響】

(複数回答)

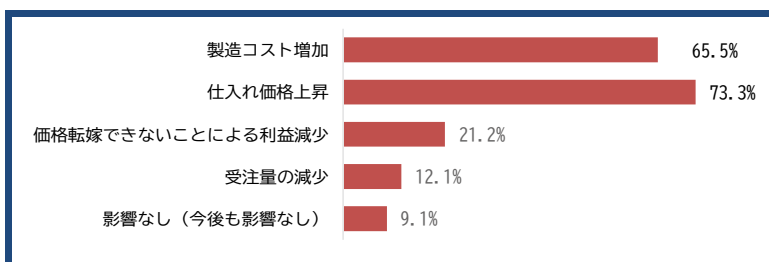
項目	回答数	割合
輸送コスト増加	88	53.3%
燃料費増加	91	55.2%
原材料価格上昇	69	41.8%
製造コスト増加	70	42.4%
仕入れ価格上昇	80	48.5%
価格転嫁できないことによる利益減少	22	13.3%
受注量の減少	16	9.7%
影響なし(今後も影響なし)	11	6.7%
合計	447	—



【原材料価格の高騰に伴う具体的な影響】

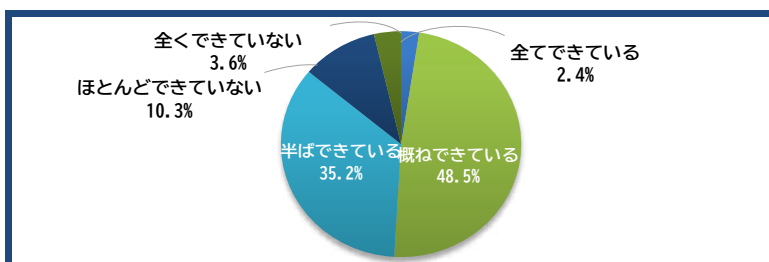
(複数回答)

項目	回答数	割合
製造コスト増加	108	65.5%
仕入れ価格上昇	121	73.3%
価格転嫁できないことによる利益減少	35	21.2%
受注量の減少	20	12.1%
影響なし(今後も影響なし)	15	9.1%
合計	299	—



原油価格、原材料価格等の高騰に係る価格転嫁について

項目	回答数	割合
全てできている	4	2.4%
概ねできている(6~9割)	80	48.5%
半ばできている(3~5割)	58	35.2%
ほとんどできていない(2割以下)	17	10.3%
全くできていない	6	3.6%
合計	165	100%



【価格転嫁が 進んだ 理由】 全てできている

- 取引先の理解
- 見積へ反映。今のところ仕事はいただけている。
- 全て案件毎の都度見積のため、価格に反映しやすい

【価格転嫁が 進んだ 理由】 概ねできている(6~9割)

- 客先への交渉の結果
- 価格交渉
- お客様との交渉
- 仕入れ価格上昇による理解と交渉が大事
- 発注元の理解
- 見積額について、客先へ理解を頂いている。
- 見積によって理解をお願いしている
- 客先との協議で理解いただいた
- 自社だけでは無いため価格転嫁には理解が得られている
- 取引先のご理解で価格転嫁が進んでいる
- 客先の理解により価格転嫁できている。
- 御客様に御理解いただいた販売品目の値上げ交渉が進んだことによりです。
- 価格UPを認めないお客様はあまりいません。エビデンスも大して必要ありません。世情かとおもいます。※協力業者の減少、下請け法など

- 当たり前に当たりの請求を確たる根拠を添えて適宜（工期満了時に提出しても撥ねられる）提出し、希望額とまではいかないが概ね請求出来ている。
- 販売価格を値上げしたため
- 全業種での値上げなので、スムーズに進んでいる（特別扱い無し）
- 定価を上げた
- 価格上昇分を見積りに転嫁
- 購入品価格上昇分については、概ね価格転嫁で来ている
- 客先説明の上、見積価格へ転嫁出来ている為
- 見積受注段階で価格高騰分織り込む
- 原価計算をもとにした値付けの仕組みがおおむね確立されている
- 受注生産のため都度見積による
- 一品一葉の受注生産のため、価格転嫁は行い易い
- 常に見積りして契約している
- 客先との折衝
- 自社活動の結果
- 取引先の親会社が適正な価格転嫁を実施してくれているため
- 道外主力先を中心に進んでいる
- 安値受注回避
- 製品単品別利益の可視化により、課題を明確にし、商談強化を行った。
取適法の徹底や遵守をもっと強く推進して欲しい。

【価格転嫁が 進んだ 理由】 半ばできている（3～5割）

- 客先との合意
- ご理解頂けるよう誠心誠意で交渉
- 業界内での理解浸透
- 価格上昇要因のデータが市場に出ているため
- 「取適法」の案内がされることによって、腰の重かった取引先も相談に応じてくれる傾向があるように思います
- 省エネの実行
- 営業の見直し
- 仕事量の減少の為、転嫁は半ばできているも売上は減少
- 北海道の業界としてこれまでの単価の底上げをここ10年以上に渡り行って来た事により業界単価は満足していると考えている。但し、全国で見た時の価格差やゼネコンへの価格負担より北海道案件への道外や海外からの参入が増えて来ている。
競争社会ではあるが、政府から要望された賃金の底上げや人口増加を目指す要因として、土建業に関しては地元業者（中小企業の末端まで）へ卸していかなければ土建業に携わる国民の生活は守られていかないと考える。極端な言い方をすれば、国内に土建業の中小企業がなくなる可能性を危惧している。

【価格転嫁が 進まない 理由】 概ねできている（6～9割）、半ばできている（3～5割）

- 価格改定が年1回のため
- リピート性の高い製品が多く、過去の実績をベースに予算取りされていることが多いため、急激なコスト上昇が受け入れずらい傾向にある。
- 無理に転嫁を要請していくと、案件が他業者に流れることになったり、最終的には建築工事自体の延期あるいは中止につながる可能性がある
- 営業の意識不足
- 競合他社との価格競争に敗北したため
- 価格を高く設定すると値下げ交渉となるため進まない。
- 競合企業の仕事が空いていれば値下げ合戦である
- 仕事量が不足
- 受注減の影響
- 需要減少による競争激化
- 仕事がないので（不景気）競争が激化して単価があげられない
- 競合他社との価格勝負は継続のため
- 材料の値上げが、ほぼ毎月なので販売価格に全てを反映できない。
- 官公庁工事では、資材価格・燃料価格・人件費高騰分の予算への織り込みが不足しており、結果的に価格転嫁が進まない状況になっているケースがある。
- 海外顧客への値上げ交渉難航

【価格転嫁が 進まない 理由】 ほとんどできていない（2割以下）、全くできていない

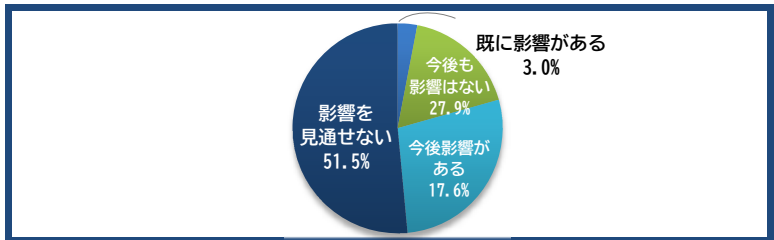
- 公共工事が主のため、価格転嫁が難しい
- 市況変動による価格転嫁を認められない(契約に盛り込まれていない)
(当社製品販売価格が海外市況に左右される為、市場レートや関税で自社負担リスクが高い＝国の市況保護がなければ民間での価格転嫁は困難)。資機材や人件費の高騰にある程度理解は得られているものの、どうしても海運マーケット次第な部分があるので価格転嫁が難しい。
- 受注先との話し合いが進まない
- 親会社方針による
- 価格変動が度々あり、値上げ交渉が進展しない。
- 移動交通手段が社用車のため、燃料費の上昇分だけでは転嫁できない。
- 機械設備等の老朽化に伴い、先行順のため進まない
- 販売価格が世界的マーケットによりほぼ決まる

価格転嫁以外の対応策について

- 経費削減
- 製作時間等の徹底した経費削減
- 諸経費削減～人件費においては生産効率を向上させ残業時間の減少を図る
- 工場経費、労務単価は年々高騰している所以对策といった対策は無い。
- 切電等による経費削減
- 適切な工程管理と全体経費削減に注力している
- 経費の見直し（ランニングコスト⇒価格が安い業者へ乗り換え）
- DXなどを通じ経費削減に努めている。
- 人件費削減のためにムダ排除、仕事の仕方を工夫させる
- 工程内の不良削減・省エネ活動
- メーカー切替え(外材手配等も含む)
仕様グレードダウン
他社多様品の複数積み合わせによる納入ルート見直しによるコスト削減
- コストダウン（過去からの永遠の取組み）
- 作業時間の見直し
- 営業コストの見直し
- 生産性の向上
- 生産工程の可視化と改善による生産性向上、材料メーカー、外注先の検討
- 合理化活動推進
- 売上を増やす／生産効率を上げる／販管費を減らすの方法しか無い中で、販管費の圧縮は既に限界であり、また雇用維持の観点から省人化もすべきではないことから、利益率の高い仕事へのシフトをするための設備導入とその人材確保が急務であると考えている
- 契約時に製作工程を明確化
- 仕入先を増やす
- 複数社からの相見積りをとっている（本州商社も対象とした。）
- 部材一括発注による仕入価格の低減
- 相見積りによる代替品・相当品への変更の検討など
- 安価品への変更
- 生産品の海外移転
- 新規調達先の開拓やVE、VA提案によるコストダウンなど
- マーケット拡大
- 協力会社の開拓
- 外注を減らし、内製化を始めた
- 内製化による原価改善
- カイゼン活動
- 営業部門への理解促進
- 歩留りの向上
- 賃金の据え置き・賃下げ
- 給与ベースアップの事由に依り値上げ交渉を実施している。
- 業務効率化に向けた設備導入
- 購入品については転嫁で来ているが、一部消耗品等（電気料金等含めて）の価格上昇分に付いては転嫁できていない物に付いて、今後転嫁出来る様対応して行かなければならない
- 何をしても賃金・コスト共に上昇傾向安&増税による利益の圧迫で対応策がない
- AIの活用や海外材の輸入を視野にいれているが、日本国内の為の業種である土建業を海外で賄おうとするのか？という疑念により一歩踏み切れていない。

米国の追加関税措置における影響等について

項目	回答数	割合
既に影響がある	5	3.0%
現時点で影響はないが、今後影響がある見通し	29	17.6%
現時点で影響はなく、今後も影響はない見通し	46	27.9%
現時点では影響を見通せない	85	51.5%
合計	165	100%



【影響内容】 既に影響がある

- 受注予定工事の予算見直しなどにより工事時期の遅延が発生し山積みに影響が出ている。
- 自動車産業を中心とした鉄鋼製品の関税は、鉄鋼業としての受注影響が大きい
- 物価高、設備投資計画の保留等
- 輸出案件の受注減

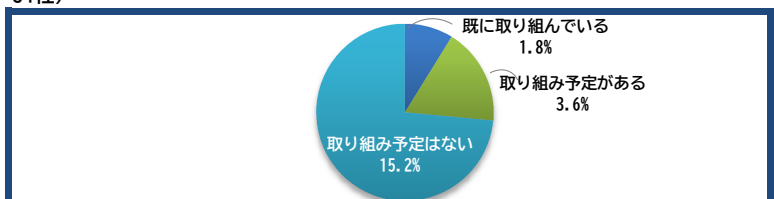
【影響内容】 今後影響がある見通し

- 受注減少の可能性
- 最終製品の販売価格上昇による需要減
- 設備投資件数の減少
- 販売先の動向で影響があるかもしれない
- 受注先からの価格値下げ要求が予想される
- 顧客からのコストダウン要請が進んでいくと予想している。
- 半導体等、電子部品の価格増ならびに入手困難による納期遅延
- 客先メーカーの設備投資状況により時差で影響が出て参ります。
- 輸出につながる仕事も多いから
- 海外展開している企業等の国内設備投資が減少し、建設業等に影響
- 自動車関連の仕事に影響が出る様です
- 原材料、仕入れ価格の上昇

米国の追加関税措置に対する対応状況について

(「既に影響がある」「今後影響がある」を選択した企業 34社)

項目	回答数	割合
既に取り組んでいる対応がある	3	1.8%
今後取り組み予定の対応がある	6	3.6%
現時点では取り組み予定の対応はない	25	15.2%
合計	34	20.6%



【対応内容】 既に取り組んでいる

- 米国内での生産調達
- 国際認証取得が完了し、航空・宇宙、防衛の分野への参入

【対応内容】 今後取り組み予定

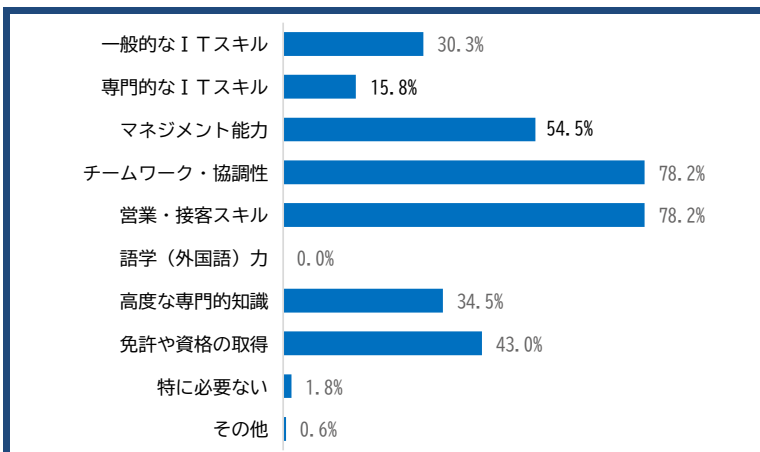
- 他の工事を取り込み谷を埋めるなど
- 経費削減のため、取り組み方、流れを見直し
- 価格転嫁を促進する

働く人に求められる能力・スキルと人材育成について

① 能力・スキルについて

(複数回答)

項目	回答数	割合
一般的なITの知識・能力 (OA・事務機器操作等)	50	30.3%
専門的なITの知識・能力 (システム開発・運用、プログラミング等)	26	15.8%
マネジメント能力・リーダーシップ	90	54.5%
チームワーク・協調性	129	78.2%
営業・接客スキル	129	78.2%
語学 (外国語) 力	0	0.0%
高度な専門的知識	57	34.5%
免許や資格の取得	71	43.0%
特に必要な能力・スキルはない	3	1.8%
その他	1	0.6%
合計	556	—



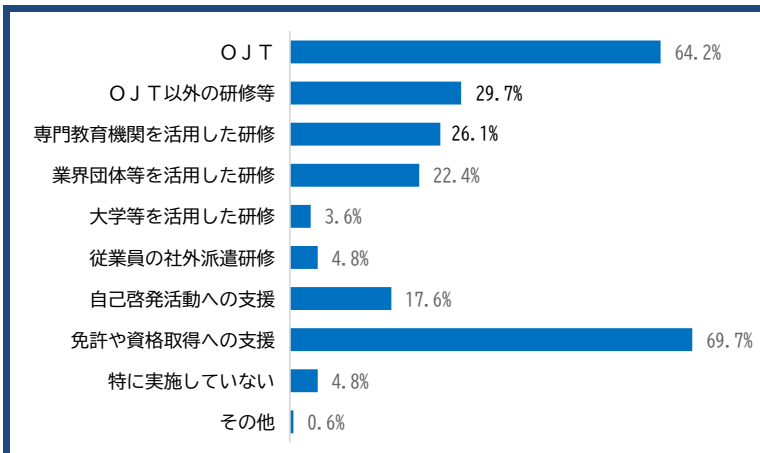
その他 記述

・造船業のため職種によって現場スキルや事務系スキルなど多岐に亘る

② 人材育成に向けての取組

(複数回答)

項目	回答数	割合
OJT (現地での実地教育)	106	64.2%
OJT以外の研修等 (オンライン含む)	49	29.7%
専門的教育機関を活用した研修	43	26.1%
業界団体や産業支援機関を活用した研	37	22.4%
大学・専門学校等を活用した研修	6	3.6%
従業員を他社に派遣しての研修	8	4.8%
自己啓発活動への支援	29	17.6%
免許や資格取得への支援	115	69.7%
特に実施していない	8	4.8%
その他	1	0.6%
合計	402	—

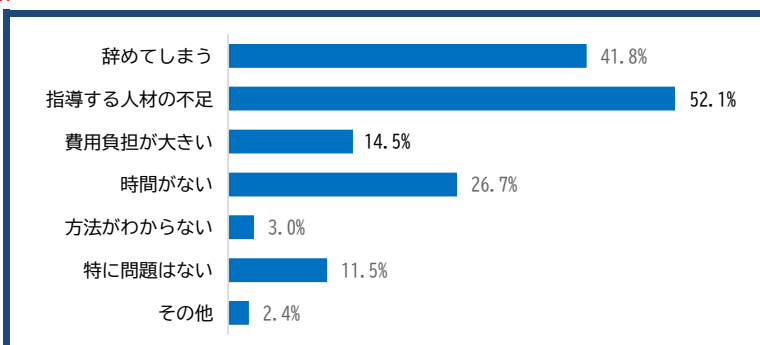


その他 記述

・展示会への参加

③ 人材育成に関する問題点や課題 (複数回答)

項目	回答数	割合
人材を育成しても辞めてしまう	69	41.8%
指導する人材が不足している	86	52.1%
人材育成を行うための費用負担が大きい	24	14.5%
人材育成を行う時間がない	44	26.7%
人材育成の方法がわからない	5	3.0%
特に問題はない	19	11.5%
その他	4	2.4%
合計	72	—



その他 記述

・会社自体に人材育成の為のカリキュラムやフローがない (そういうものの必要性に気づいていない)

・資格取得に積極的でない

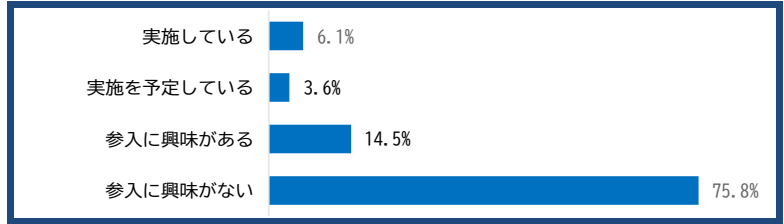
・社員自らのチャレンジを促す風土の醸成

・人口減なのに働き方改革で更に働けなくなった環境で育成以前の問題

GX関連事業・出資について

① 実施状況

項目	回答数	割合
実施している	10	6.1%
実施を予定（検討）している	6	3.6%
参入に興味がある	24	14.5%
参入に興味がない	125	75.8%
合計	165	—



【事業内容】 実施している

- 半導体製造事業、データセンター事業の関連業務を頂いている
- 親会社にて対応（蓄電施設）
- 太陽光発電事業
- 売電
- 再エネ電源開発、DC開発、水素利活用等
- 再エネ発電水素発電を既に自社で行っている
- GX関連事業に伴う製造業（関連装置の設計・製造・試験）
- サプライチェーン事業（製造）

【事業内容】 実施を予定（検討）している

- グリーン鋼材の採用検討
- 実施内容を検討中

【事業内容】 参入に興味がある

- 製造機械部品の修繕
- 機械部品加工製造業
- 現時点で不明
- ・圧力容器（熱交換器、アキュムレータ等）の設計・製作・据付・メンテナンス
 ・塔槽・貯槽・一般製缶及び溶接配管の設計・製作・据付・メンテナンス
 ・各種産業機械の設計・製作・据付・メンテナンス

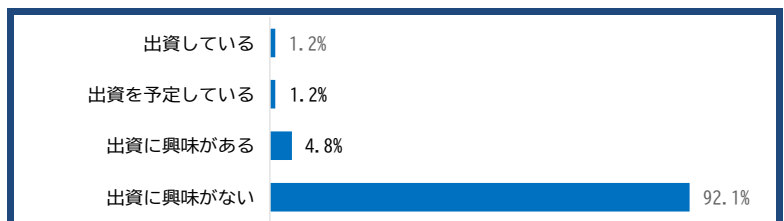
技術部門と営業部門が一体となっており、お客様の要望に迅速に対応することができます。製造部門では熟練の製缶工と20代から30代の各種免許、資格をもった若い職人が多数いるため、溶接等で品質の高いタンク・圧力容器等の製造が可能です。工事部門を有し、配管工事、据付、メンテナンスで、道内外のお客様の要望にも即時対応できます。

技術者、職人双方で20代、30代の社員が多数在籍し、ベテラン社員が若手を支えています。特別、普通ボイラー溶接士、各種JIS溶接資格、機械設計技術者、溶接管理技術者、施工管理技士など各種資格を持った社員が「信頼の品質」「任せて安心」を実現します。

- 設備保全業務
- 生産設備部品等の製造
- 再エネ発電など
- 自動機器の設計・制作を行っており各種の生産ライン機器の経験あり
- 製缶品等の製作・据付
- 太陽光、蓄電池、発電所の燃料転換等
- 次世代半導体製造装置メーカー部品（ティア2・3）への表面処理（コーティング）
- 理解への興味はあるが、土建業は発展性が遅い業界と考えている。
 どのように取り入れるべきかは色々情報を仕入れてからと考えている。
- 特殊鋼の熱処理
- 再エネ発電施設管理

② 出資状況

項目	回答数	割合
出資している	2	1.2%
出資を予定（検討）している	2	1.2%
出資に興味がある	8	4.8%
出資に興味がない	152	92.1%
合計	164	—



【出資内容】 **出資している**

- グループ内に複数事業体を保有
- 再生可能エネルギー電力

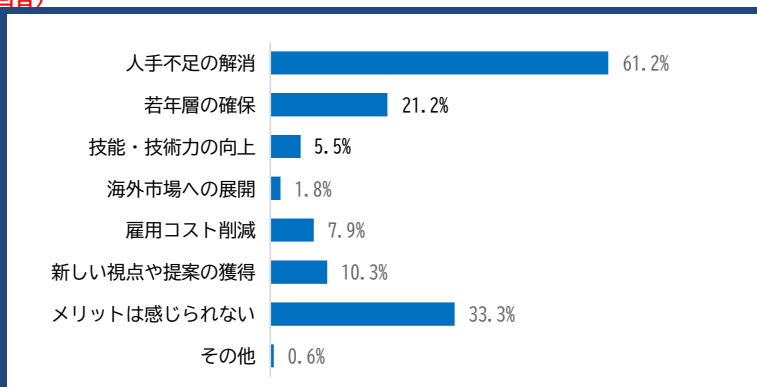
【出資内容】 **出資を予定（検討）している**

- GX関連事業の検討と併せて検討中

外国人労働者の雇用について

① 外国人労働者を雇用するメリット （複数回答）

項目	回答数	割合
人手不足の解消につながる	101	61.2%
若年層の確保が出来る	35	21.2%
技能・技術力の向上が期待できる	9	5.5%
海外市場への展開に役立つ	3	1.8%
雇用コスト面でのメリットがある	13	7.9%
新しい視点や提案が得られる	17	10.3%
メリットは感じられない	55	33.3%
その他	1	0.6%
合計	234	—

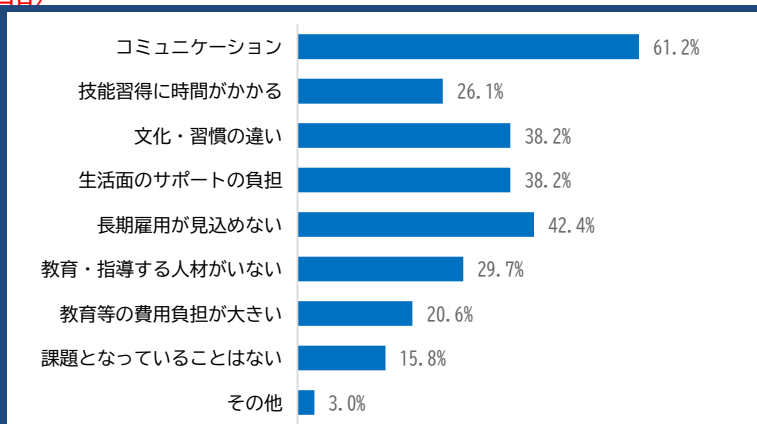


その他 記述

・言葉、スキルの関係で外国人の雇用は不可

② 外国人労働者の雇用における課題 （複数回答）

項目	回答数	割合
言語の違いによりコミュニケーションが難しい	101	61.2%
技能習得に時間がかかる	43	26.1%
文化・習慣の違いによるトラブル	63	38.2%
生活面のサポートに手間がかかる	63	38.2%
長期雇用が見込めない	70	42.4%
教育・指導する人材がいない	49	29.7%
教育・生活支援等のための費用負担が大きい	34	20.6%
課題となっていることはない	26	15.8%
その他	5	3.0%
合計	454	—



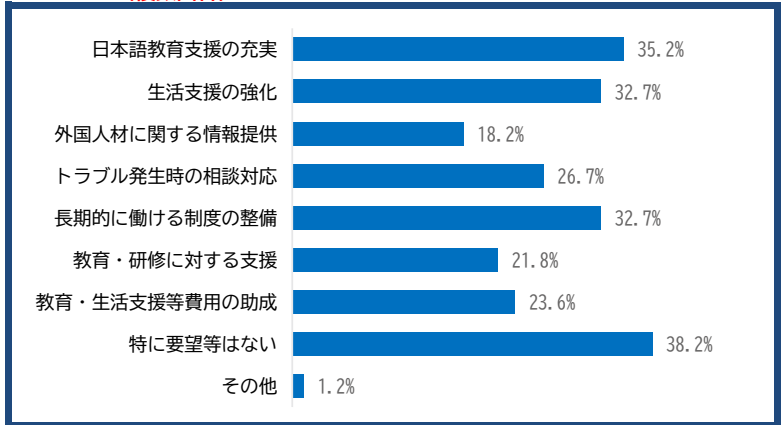
その他 記述

- ・資格が無いと作業出来ないが取得が困難
- ・検討しておりませんので、課題がございません。
- ・外国人雇用の実績なし
- ・雇用しない。
- ・仕事の内容で外国人の雇用が不可

③ 外国人労働者の雇用に関する行政等への要望

(複数回答)

項目	回答数	割合
日本語教育支援の充実	58	35.2%
生活支援の強化	54	32.7%
外国人材に関する情報提供	30	18.2%
トラブル発生時の相談対応	44	26.7%
長期的に働ける制度の整備	54	32.7%
教育・研修に対する支援	36	21.8%
教育・生活支援等のための費用に対する助成	39	23.6%
特に要望等はない	63	38.2%
その他	2	1.2%
合計	380	—



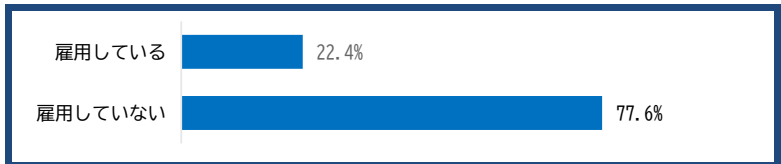
その他 記述

- ・外国人に依存しない社会作りに全力を上げて下さい。日本は日本人が守る！
- ・雇用政策を見直してほしい。賃金をあげずらい。

④ 外国人労働者の雇用状況

(複数回答)

項目	回答数	割合
雇用している	37	22.4%
雇用していない	128	77.6%
合計	165	100%



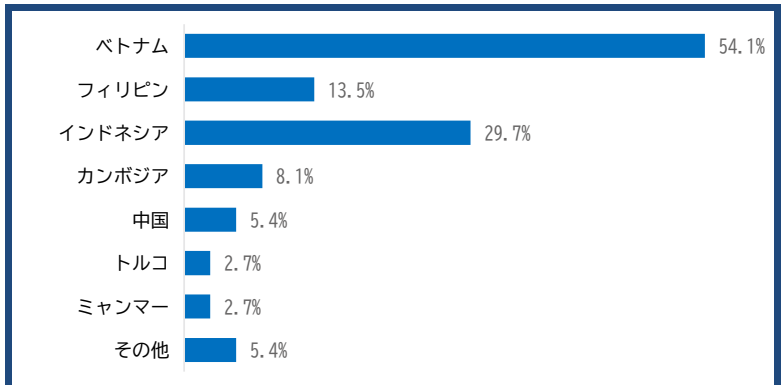
⑤ 雇用している外国人労働者の概要

(④で「雇用している」を回答した37社)

【国籍別 企業数】

(複数回答)

国籍	企業数	割合
ベトナム	20	54.1%
フィリピン	5	13.5%
インドネシア	11	29.7%
カンボジア	3	8.1%
中国	2	5.4%
トルコ	1	2.7%
ミャンマー	1	2.7%
その他	2	5.4%
合計	45	—



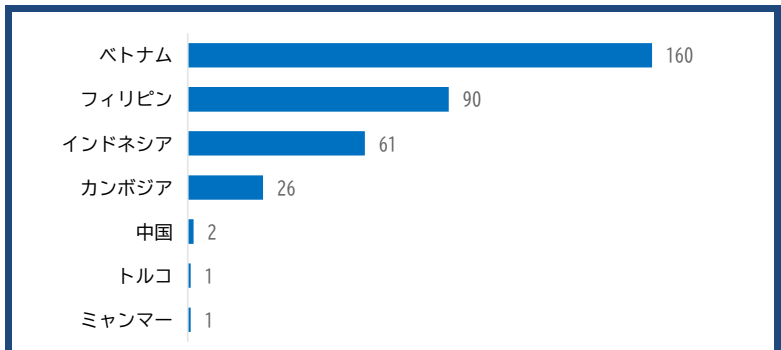
その他 記述

- ・複数の国籍、海外事業体からの出向受け入れも含み多数

【国籍別 雇用人数】

(複数回答)

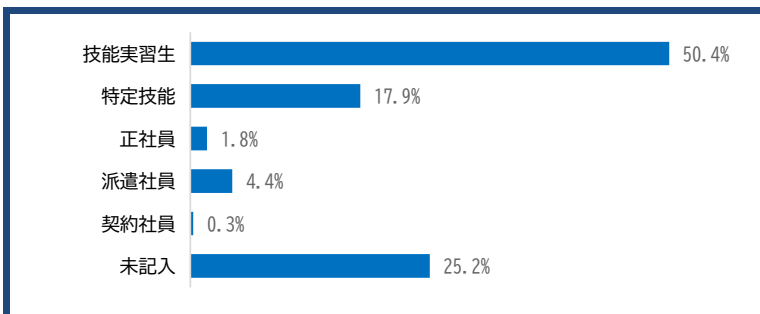
国籍	人数	割合
ベトナム	160	46.9%
フィリピン	90	26.4%
インドネシア	61	17.9%
カンボジア	26	7.6%
中国	2	0.6%
トルコ	1	0.3%
ミャンマー	1	0.3%
合計	341	—



【雇用形態】

(複数回答)

項目	回答数	割合
技能実習生	172	50.4%
特定技能	61	17.9%
正社員	6	1.8%
派遣社員	15	4.4%
契約社員	1	0.3%
未記入	86	25.2%
合計	341	—



自由記載

- 外国人労働者を受け入れたいが、住居の手配などの費用面の補助を希望する。
- 外国人労働者を雇用する予定は無い
- 失なった30年間といわれますが、この先未来も失うかどうかは我々企業の問題ではなく明らかに「日本政府」の政策にかかっております。中小企業がいくら努力しても消費税還付金等で大企業しか潤わない経済実態でどうやって未来を明るくしろと？
- そもそもですが、日本が経済的に弱くなっている中で外国人労働者の雇用は未来性がないと考えます。それよりも地元で仕事出来る環境づくり、娯楽施設の増設、地元企業が豊かになり働きやすい職場づくり、これらに焦点を当てなくてはならないと考えます。

過疎化が急速に進んでいる大きな要因は、地元が魅力的でない、住みにくい、楽しさが見いだせない等々あるかと思えます。生活の軸はどこまで云っても「仕事環境」です。会社（仕事）は世の中への貢献であり、これらの問題を解決し生み出す大きな波が必要です。その為にも是非、旭川近郊（道北！！）でテーマパークの設置をお願いします。

当面の行事日程について（5～7月）

※ 4月10日時点予定分（各行事の正式案内は別途お送りいたします）

〈表面処理部会総会・懇親会〉

日 時 5月15日（金） 18：00～20：30
場 所 京王プラザホテル札幌

〈サッシ部会総会・懇親会〉

日 時 5月22日（金） 18：00～20：30
場 所 札幌東急ストリームホテル

〈鉄骨部会総会・懇親会〉

日 時 5月22日（金） 17：00～
場 所 ホテルモンテレーデルホフ札幌

〈検査部会総会・懇親会〉

日 時 5月22日（金） 17：00～20：00
場 所 ホテルモンテレーデルホフ札幌

〈札幌支部総会〉

日 時 5月27日（水） 14：00～14：30
場 所 ANAクラウンプラザホテル札幌

〈定時総会〉

日 時 5月27日（水） 15：00～20：00
場 所 ANAクラウンプラザホテル札幌
正副会長会議 14：30～15：00「孔雀」
総 会 15：00～16：30「鳳」
講 演 会 16：40～17：50「白楊」
交 流 懇 親 会 18：00～20：00「鳳」

〈懇親ゴルフ交流会〉

日 時 5月28日(木) 7:30~
場 所 札幌エルムカントリークラブ(西コース)

〈札幌支部・機械製作部会合同ゴルフ例会〉

日 時 7月1日(水) 7:37~
場 所 札幌エルムカントリークラブ(西コース)

〈検査部会夏季ゴルフ例会〉

日 時 7月9日(木) 8:33~
場 所 札幌エルムカントリークラブ(西コース)

※ 各種の状況によりましては、開催方法の変更などがありますので、詳細は各行事の正式案内をご覧ください。

部会だより

検査部会

技術講習会

「第5回技術講習会（再認証）」

開催日 2026年1月20日(火)～23日(金)

場所 北海道溶接技術センター

科目	実施日	受講者
磁気 (MT)	1月21日	5名
浸透 (PT)	1月22日～23日	15名
超音波 (UT)	1月20日～23日	8名



「第6回技術講習会（学科）」

開催日 2026年2月9日(月)～19日(木)

場所 北海道溶接技術センター

科目	実施日	受講者
磁気 (MT)	2月16日～17日	3名
浸透 (PT)	2月18日～19日	7名
超音波 (UT)	2月9日～10日	6名



役員会

日時 2026年2月27日(金)13:00～14:00

場所 ホテルモントレエーデルホフ札幌
12階「リルケ/モーザ」

出席者 9名

内容

- ・第1号議案：2025年度事業報告・決算見込み
- ・第2号議案：2026年度事業計画(案)・収支予算(案)
- ・第3号議案：役員改選(案)について
- ・第4号議案：2026年度総会について
- ・報告事項：会員動向・技術講習会など



▲ 役員会の様子

第46回 検査技術研究会

(検査部会/鉄骨部会 共催事業)

日時 2026年2月27日(金)15:00～18:00
(18:00～懇親会)

場所 ホテルモントレエーデルホフ札幌
12階「ベルクホール」

参加者 53名

内容

【基調講演】

- 「鉄骨デザインにおける工事概略と特異点について」
講師：河合鉄工(株) 西川 憲二氏
- 「同期ギアレス風力発電装置開発と風力発電所メンテナンス」
講師：日本製鋼所M&E(株) 久保 典男氏

【最新機器の紹介】

- 「新型オムニエースR A3100のご紹介」
講師：エー・アンド・ディ(株)設計開発部
- 「高性能超音波探傷器EXPLORERのご紹介」
講師：ディービー(株)技術開発部

【補助金の紹介】

- 「便利な各種補助金の活用法」
講師：(株)北海道共創パートナーズ



▲ 会場の様子



▲ 講演の様子



▲ 最新機器を実際に体験



▲ 交流会の様子

自動車関連部会

ものづくり人材育成 プログラム事前説明会

- 日時 2026年1月20日(火)13:00~15:30
場所 トヨタ自動車北海道(株) <苫小牧市>
出席者 22名
内容 トヨタ自動車北海道(株)で創設予定の人材教育プログラムを実地体験。
出席者は部会員企業トップや工場責任者が中心で、体験後にプログラム内容への提案やアドバイス等を行いました。





▲ 懇親会の様子

第2回役員会

日時 2026年3月6日(金)17:00~20:00

場所 (役員会) TKP札幌駅カンファレンスセンター

(懇親会) 居酒屋 魚吉

出席者 12名

内容

第1号議案: 2025年度 事業収支見込み

第2号議案: 2026年度 事業計画(案)

※以下の3行事は開催日「確定」済みです。

- ・【第1回役員会】 2026年9月4日(金)
- ・【ゴルフ交流会】 2026年9月5日(土)
- ・【講演会・年末交流会】 2026年12月4日(金)

第3号議案: 2026年度 収支予算(案)

第4号議案: 役員改選(案)

第5号議案: 自動車関連部会の通常総会について

開催日時: 2026年4月21日(火)

17:00~18:00

開催場所: ホテルモンテレーデルホフ札幌

報告事項: 会員動向および事業実施状況について



▲ 役員会の様子

表面処理部会

忘年会

日時 2025年12月19日(金)18:00~20:00

場所 北の味 北海しゃぶしゃぶ すすきの店

参加者 11名



▲ 忘年会の様子

道外視察会 (関西地区)

日程 2026年3月11日(水)~13日(金)

- 視察先
1. 『ジャパンウェイト(株) 神戸工場』
(兵庫県神戸市)
 2. 『奥野製薬工業(株)放出工場』
(大阪府大阪市)
 3. 『灘菊酒造』・『姫路城』・『カワサキワールド』 (兵庫県姫路市・神戸市)

参加者 9名

【視察先概要】

1. ジャパンウエスト(株)神戸工場 (産業廃棄物処理) ※工場内は撮影禁止

- ・ 本社は兵庫県神戸市で従業員数は120名。事業内容は産業廃棄物の無害化処理と再資源化で、本社(神戸工場)のほか埼玉、神奈川、福岡、鹿児島に工場があります。
- ・ 今回視察した神戸工場の従業員数は58名で、アルカリシアン廃液や廃油、廃プラスチック、廃ガラス/陶磁器などの中間処理を行っています。

廃棄物の種類により中和・シアン分解・油水分離・破砕などの処理方法がありますが、今回は主に凝集沈殿処理の工程を視察しました。

廃液を「溶解槽」へ投入して固形物を沈殿させ、次に「フィルタープレス機」で汚泥除去して液体(含む有害物)のみ回収します。液体はさらに「中和ピット」へ送られ、アルカリ塩素法により窒素ガスと重炭酸に分解して無害化しています。

また廃液搬入で使用したガラス/プラ容器も洗浄・破砕処理し、ガラスは路盤材(舗装道路の補強材)、プラスチックは燃焼助剤(ごみ焼却の燃焼材)として再利用化しています。

なお、工場で受入れる年間7,200tの廃棄物のうち5,100tは工場で中間処分しますが、処理不能な残りは積替保管のうえ最終処分業者へ委託しています。



▲ 粉碎作業を外側から見学



▲ 凝集沈殿処理



▲ 工場入口で記念撮影



▲ 会社概要の説明

2. 奥野製薬工業(株)放出工場 (表面処理・ケミカル薬品製造)

※工場内は撮影禁止

- ・ 本社は大阪府大阪市で従業員数は490名。年間売上高は330億円で中国・韓国・台湾・アメリカ・タイに海外拠点があり、9年前には総合技術研究所も新設されました。

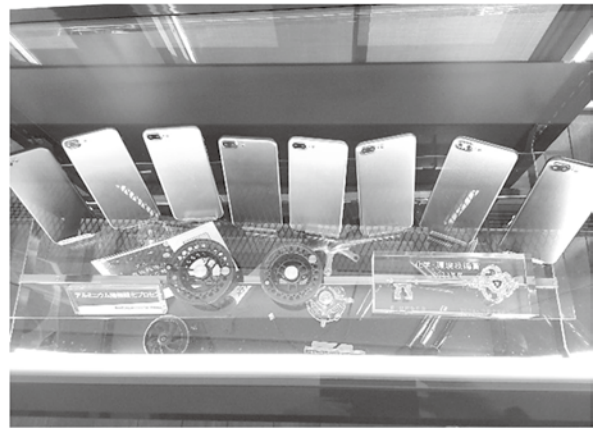
事業内容は表面処理部門75%・食品部門20%(食品添加剤)・無機材部門5%(飲料ビ

ンや車両ガラスの焼付などで、食品部門はベーキングパウダーを初めて国産化した実績を誇ります。

- ・表面処理部門はケミカル製造が主体で、プラスチックめっき(自動車エンブレム等)、無電解めっき(ニッケル等)、プリント配線板処理(半導体ウエハ等)、アルミ合金用処理(スマートホン等)に使用されています。

今回は2027年8月に竣工する新工場iCUBE(環境配慮型次世代工場)の一部稼働部分を視察しました。工場ではタブレットでの装置操作やQRコードでの製造管理でヒューマンエラーを削減する「MES製造実行システム」が導入され、自動化・省力化を一段と進めていました。

さらに、建設にあたっては高性能の電炉材を鉄骨に使用して2,400tのCO₂を削減し、窓ガラスには太陽光モジュール、屋根には太陽光パネル設置で年間10t相当のCO₂削減が見込まれるなどDXとGXの両方を実現しています。



▲ 表面処理された各種製品



▲ 本社入口で記念撮影



▲ 本体外観



▲ 灘菊酒造の見学



▲ 会社概要の説明



▲ 酒樽を前に記念撮影

3. 灘菊酒造、姫路城、カワサキワールド

2025年度 第7回役員会

日 時 2026年2月12日(木)11:00~15:15

場 所 ホテルモントレエーデルホフ札幌
12階 「ワグナー」

出席役員 竹原部会長 他11名、欠席役員1名、
事務局1名

1. 審議事項

- ①炭酸ガスに関する要望活動について
- ②青年部会との共催事業「DXセミナー」開催について

2. 協議事項

- ①鉄骨部会の今後の在り方について

3. 報告事項

(1) 鉄骨部会関係報告

- ①鉄骨部会員の退会について
- ②2025年度収支決算見込みについて
- ③2月27日開催「第46回検査技術研究会」について
- ④3月3日開催「化学物質管理者講習」について
- ⑤「品質管理責任者講習(札幌)」受講状況について

(2) 機械工業会関係報告

- ①当面の行事日程について

(3) 全構協関係報告

- 1月16日開催「2025年度第7回理事会」について

【審議事項】

- (1) 就業規則の件

【報告事項】

- (1) 2026年賀詞交歓会実施について
- (2) 委員会等活動状況報告
 - ①運営委員会
 - ②技術委員会
 - ③外部団体との意見交換会対応WG
- (3) 管理者の届出について
- (4) 青年部(全青会)との連携活動について
- (5) その他
 - ①青年部との意見交換会について
 - ②「鉄骨技術に関わる改善・開発・人材



▲ 姫路城



▲ ガイド付きで城内見学



▲ 道頓堀グリコ前



▲ 千里川土手で迫力の着陸シーン見学

育成のための助成制度」成果報告会開催と工作基準マニュアル改定案について (P32-)

③日銀調査への協力対応について

【その他の定例報告事項】

- (1) 構成員登録状況
- (2) 着工面積と推計鉄骨需要量
- (3) 2025年度主要会議日程
- (4) 支部報告

4. 各支部状況報告

- ①函館支部 ②室苦小樽支部 ③旭川支部
- ④道央支部 ⑤釧路支部 ⑥帯広支部
- ⑦北見支部

・道内7支部の支部長から、1～2月の支部概況について報告されました。

5. 青年部会活動報告

鉄骨部会・大日本塗料(株) 共催

「化学物質管理者講習

(取扱い事業場向け)」開催

労働安全衛生規則等の一部を改正する省令により、2024(令和6)年4月1日から、リスクアセスメントの対象物である化学物質を製造、取扱い、譲渡提供する全ての事業場において「化学物質管理者」の選任が義務付けられました。厚生労働省では、管理者講習の受講修了者から選任することを推奨していることを受け、この度大日本塗料株式会社様に講師を派遣いただき、鉄骨部会会員とその協力会社を対象とした、取扱い事業場向けの6時間講習を開催しました。

日時 2026年3月3日(火) 9:30～16:30
(休憩時間 11:30～12:30)

場所 北農健保会館 3階 「大会議室」

受講者 44名(会員:36名、協力会社等:8名)

講師 大日本塗料株式会社

環境安全部長 加藤 信佳 氏

カリキュラム

- ①労働安全衛生法改正の経緯について
- ②GHS・SDS概論
- ③化学物質のリスクアセスメントについて
- ④労働安全衛生法の新たな化学物質規制 他



▲ 講師:大日本塗料(株) 加藤 信佳 氏



▲ 講習会風景

2025年度 第8回役員会

日時 2026年3月17日(火) 11:30～15:30

場所 ホテルモントレエーデルホフ札幌
12階 「ワグナー」

出席役員 竹原部会長 他10名、欠席役員2名、事務局1名

1. 審議事項

- ①「人づくり研修2026」開催日程について
- ②2026年度役員会開催日程検討について
- ③2025年度収支決算(見込み)について
- ④役員改選について

2. 協議事項

- ①2026年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ②鉄骨部会の今後の在り方について

3. 報告事項

(1) 鉄骨部会関係報告

- ①炭酸ガスに関する要望活動について
- ②「品質管理体制の維持に関する定期報告」実施について(注意喚起)

- ③「JSAOマイページ」開設に伴う「JSAO-ID」の通知について（予告）
- ④「第46回検査技術研究会」開催報告
- ⑤「化学物質管理者講習」開催報告
- ⑥その他（「FABに特化したDXセミナー」について）

(2) 全構協関係報告

■ 2月17日開催「2025年度第8回理事会」について

【審議事項】

- (1) 2026年度事業計画（案）承認の件

【報告事項】

- (1) 2026年度予算編成方針・前提について
- (2) 委員会等活動状況報告
 - ①運営委員会
 - ②「鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度」選考委員会
- (3) 青年部会との意見交換会について
- (4) 支部からの要望について
- (5) 2026年度主要会議予定について
- (6) その他（需要低迷対策について）

【その他の定例報告事項】

- (1) 構成員登録状況
- (2) 着工面積と推計鉄骨需要量
- (3) 2025年度主要会議日程
- (4) 支部報告

4. 各支部状況報告

- ①旭川支部 ②室苦小樽支部 ③函館支部
 - ④帯広支部 ⑤釧路支部 ⑥道央支部
 - ⑦北見支部
- ・道内7支部の支部長から、2～3月の支部概況について報告されました。

5. 青年部会活動報告

鉄骨部会・北海道FAB青年部会 共催
「FABに特化したDXセミナー」開催

開催日時 2026年3月17日(火)
15:30～17:15（セミナー）、
17:30～19:00（懇親会）

開催場所 ホテルモントレエーデルホフ札幌 12階

参加者数 会場53名、オンライン17名

講師 株式会社SAKURA SOLUTION
取締役社長 長尾 大祐 氏

内 容

講師に、(株)SAKURA SOLUTIONの長尾大祐社長をお招きし、「知識ゼロから学ぶ・DX化への第一歩」と題して、広く一般に活用されているアプリを活用し、手軽にペーパーレス化や省人化など、業務デジタル化を導入できる仕組みを紹介いただきました。また同社が開発中の業務管理プラットフォームの機能も説明されました。

セミナー後には懇親会を開催し、青年部会員と交流を図り和気あいあいとした雰囲気の中、盛況のうちに終了しました。



▲ (株)SAKURA SOLUTION 長尾講師



▲ セミナー風景



▲ 開会挨拶(鉄骨部会 竹原部会長)



▲ 開会挨拶(青年部会 北川会長)



▲ 機械製缶部会役員会の様子

機械製缶部会

2026年度 第1回役員会

開催日時 2026年4月7日(金)12:00~14:00

場 所 JRタワーホテル日航札幌
35階 スカイレストラン「丹頂」

出席者 鈴木部会長他4名、事務局1名

内 容

鈴木部会長の挨拶の後、2025年度事業・決算見込み報告を行い、審議事項である2026年度各種事業計画の検討に入りました。

1. 2025年度事業報告及び収支決算見込みについて

2025年度開催事業は札幌支部との合同企画のゴルフ会のほか、道内外視察会を開催。決算見込みも起案通り承認となりました。

2. 2026年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

新年度でも昨年に引き続き道内・道外視察会を含めた予定を組み、総会に諮ることとなりました。今年以降も引き続き各種経費削減を図り、2034年に迎える50周年に向けて準備を進めることとしました。

3. 役員改選について

今回の改選では7人の役員全員再任で総会に諮ることとしました。

電機電子部会

電機電子部会道外視察会(四国地区)

開催日 2026年3月9日(月)~11日(水)

参加者 会員5社5名、事務局1名

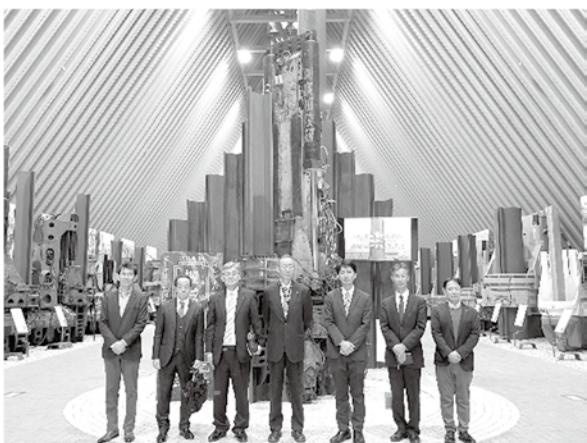
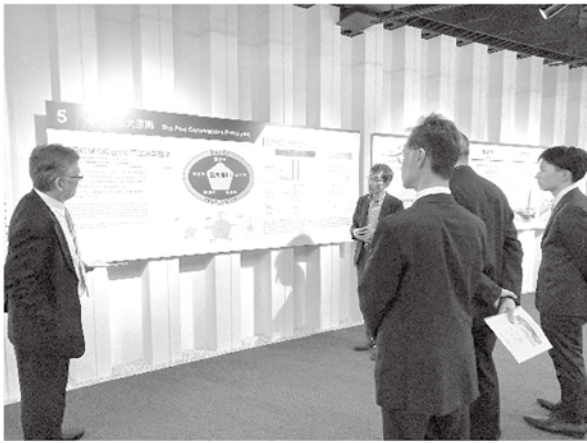
視察場所 高知県、香川県

視察先 4社

①(株)技研製作所・RED HILL 1967 (高知県香南市)

対応者：新工法開発事業 富山執行役員、製品開発部 北村部長ほか

1967年創業の油圧式杭圧入引抜機や機械式駐車場などを製造する機械メーカー。建設工事現場などで使用される杭打機「サイレントパイラー」は同社の研究により開発。現在、北海道内では北電泊発電所堤防工事などを手掛けています。今回は圧入技術の粋を集めた機械や工法、構造物の実物の展示を通して、圧入を深く学ぶ施設「RED HILL 1967」を視察しました。視察の中では、パネルこれまで同社が使ってきた杭打機見学のほか、屋外に展示している機械設備で実際に杭打ちのデモ体験も行いました。



▲ 技研製作所は施設屋内外を視察しました

②YAMAKIN(株) (高知県香南市)

対応者：本橋専務取締役、総務部 黒原部長、
秘書課 西村秘書長、麻岡理事

1957年、大阪で貴金属の売買及び加工を行う会社として創業。以来、歯科材料・貴金属の製造を行う。1991年に工場拡大が必要となった際、用地取得費用の理由から創業者出身地の高知県香南市に高知工場を新設。2001年には全業務を大阪から高知に集約しています。今回の視察では虫歯治療で使用される歯科材料製造ライン見学のほか、完成した純金インゴット現物(10kg：価格約3億円)の公開もあり、参加者一同手に取り、その重さを実感しました。



▲ YAMAKIN(株)視察の様子

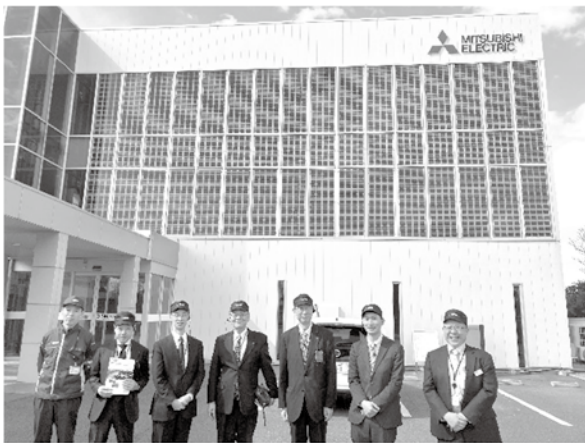


▲ YAMAKIN(株) 商品サンプル前にて記念撮影

③三菱電機(株)受配電システム製作所 (香川県丸亀市)

対応者：事業企画部 機器営業課 山村課長、
北海道支社 相山部長ほか

受配電設備とその制御・監視設備を製造する一貫生産工場。省エネモデル工場としてスマート中低圧直流配電システム事業「D-SMiree(ディー・スマイリー)」を展開中。太陽光発電パネルを内蔵した窓ガラスに採用し、場内エレベーターなどの動力源として利用しています。



▲ 三菱電機(株)受配電システム前で記念撮影

④(株)タダノ 本社・高松工場 (香川県高松市)

対応者：総務部コーポレートコミュニケーショングループ 野崎氏ほか

1919年に創業者 多田野益雄氏が北海道旭川区(現・旭川市)へ渡り、溶接業として開業。1948年香川県高松市藤塚町に帰郷し、(株)多田野鉄工所を設立。その後、旧国鉄の鉄道保線機械を納める。1955年日本初のトラッククレーンには注文が殺到したとのこと。現在では建設用クレーン、車両積載型クレーン、高所作業車などを製造・販売する世界最大手級の建設用クレーンメーカーとなっています。



▲ (株)タダノ本社前で記念撮影

⑤観光、懇親会など

四国訪問は初めてという参加者も多く、基本的な観光どころを見学。高知では、はりまや橋、桂浜公園にて坂本龍馬像を見たほか、香川県ではミシュランタイヤ三つ星評価の栗林(りつりん)公園、石垣で有名な丸亀城、こんぴら参り【金刀比羅宮(ことひらぐう)参拝】を行いました。



▲ はりまや橋(高知県高知市)



▲ 桂浜公園、坂本龍馬像前



▲ 高知ではYAMAKIN朝丘理事(左橋)も懇親会に参加



▲ 栗林公園



▲ 丸亀城



▲ 金刀比羅宮(本宮:785段目)



▲ 金刀比羅宮(奥社:1368段)

2025年度 役員会

開催日時 2026年3月24日(火)16:00~17:00

場 所 当会会議室

出席者 向井部会長他役員2名、事務局1名

内 容

向井部会長の挨拶の後、2025年度事業・決算見込み報告を行い、審議事項である2026年度各種事業計画の検討に入りました。

1. 2025年度事業報告及び収支決算見込みについて

2025年度事業は情報交換会1回(北海道電力)、道外視察会、役員会を実施。収支見込案は起案通り承認となりました。

2. 2026年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

新年度は情報交換会、道外視察会ほかを計画。情報交換会はこれまでの座学形式に代えて、昨年行った北海道電力泊発電所見学・情報交換会のようなスタイルで行うこととしました。視察会は中国地方(広島、岡山)を選定。具体的な訪問先、時期は部会総会で承認後、再検討することとしました。

3. 役員改選について

会計監事の相山部長【三菱電機(株)北海道支社】が4月1日付で異動となるため、新任となる津田正一氏に就任を依頼することとしました。

4. その他(2025年度定時総会について等)

定時総会(および懇親会)は、予定通り4月23日(金)に開催することとしました。

最後は三上会計監事が「来年は今年よりも仕事が多くなるよう期待しましょう」と一本締めで閉宴しました。



▲ 島貫部会長挨拶



▲ タカフジ菊池部長からの挨拶

サッシ部会

2025年度 サッシ部会忘年会

日時 2025年12月11日(木)18:00~20:30

場所 札幌エクセルホテル東急 2階「からまつ」

出席者 出席8社8名、事務局1名

次第

- (1) 挨拶 島貫部会長
(株式会社 リベラル)
- (2) 締めの挨拶 三上会計監事
(株式会社 日新鋼機製作所)

・島貫部会長の乾杯挨拶で宴会開始。途中では部会行事初参加となった(株)タカフジ菊池部長から自己紹介として挨拶をいただきました。

2025年度 サッシ部会新年会

日時 2026年1月22日(木)18:00~20:30

場所 JRタワーホテル日航札幌
35階 スカイレストラン「丹頂」

出席者 出席9社11名、事務局1名

次第

- (1) 挨拶 島貫部会長(株式会社 リベラル)
- (2) 締めの挨拶 (株)丸佐サッシ製作所
難波 博光社長

・会の前には大日本塗料(株)札幌営業所 三瓶所長からサッシ用塗装剤についての商品説明がありました。説明会終了後、島貫部会長から乾杯挨拶で宴会開始。途中では部会行事初参加となった(株)タカフジ 尾上 智洋新社

長から自己紹介をいただきました。最後は(株)丸佐サッシ製作所 難波社長から「今年一年もお互い協力し合っていきましょう」との挨拶で閉宴しました。



▲ 島貫部会長乾杯挨拶



▲ タカフジ尾上新社長の自己紹介

役員会

日時 2026年4月9日(木)18:00~21:00

場所 てんぷら膳(札幌市中央区)

参加者 島貫部会長ほか役員2名、事務局1名

議題 2026年度部会総会に向け次の議題について審議しました。

(1) 2025年度事業報告および収支決算(見込)について

事務局案通り承認。

(2) 2026年度事業計画(案)および収支予算(案)について

10月に視察会開催を計画、総会で部会員に承認が得られれば、視察先の選定に入ることになりました。

(3) 役員改選について

今回は全員再任で総会に諮ることにしました。

(4) その他

2026年3月で1社退会してことで会員数が9社となったことから、新年度で会員勧誘活動が必要となりました。



▲ 役員会の様子



支部だより

札幌支部

講演会・新年交流会

日時 2026年1月30日(金)

16:00~17:30 講演会

17:40~19:40 交流会

場所 ホテルモンテレーデルホフ札幌12階

出席者 講演会50名、新年交流会57名

講演会 演題:「札幌・北海道 おもしろ歴史散歩」

講師: 街歩き研究家 北海道科学大学

工学部都市環境学科客員教授

和田 哲氏



▲ 講師: 和田 哲氏



▲ 藤枝支部長から講演御礼挨拶

交流会

- ・札幌支部幹事、北海道電気技術サービス(株) 向井社長の乾杯で宴会スタート。

毎年恒例の福引では今回は札幌支部設立50周年でもあり、特別にラッキー賞のほか、和田講師からも自身の著書「眠れなくなるほど面白い 北海道の話」も賞品として提供をいただきました。最後の締めは、阿部副支部長からの一本締めで閉会しました。



▲ 北海道電気技術サービス(株)向井社長の乾杯挨拶



▲ 懇親会会場の様子



▲ 福引1等賞当選した札幌ポデー工業 堀田社長



▲ 阿部副支部長 中締め挨拶



▲ 講師 須田 孝徳 氏

旭 川 支 部

旭川私立大学コラボセミナー、 新年交礼会開催

開催日 2026年1月29日(木)17:00~20:00

会場 旭川トーヨーホテル

主催 旭川機械金属工業振興会、
旭川工業高等専門学校産業技術振興会

参加者 セミナー46名、新年交礼会25名

内 容

- ・講師：旭川市立大学教授
新学部設置準備室長 須田 孝徳 氏
- ・演 題：「旭川市立大学地域創造学部と今後の
ものづくり産業との関わりについて」
本年4月に旭川市立大学では、地域を取り
巻く課題に対して主体的に関わり、他者と協
働しながら豊かな発想力で地域の未来を創る
人材を養成する地域創造学部を開設します。
今回のセミナーには同大須田教授を講師に招
き、同学部が目指すITやAIをはじめデー
タサイエンス、デザイン思考、工学やマネジ
メントの知識を体系的に修得し、広く様々な
視点を持って物事を捉えられる教育の展望を
説明いただきました。入学する学生には地域
の企業や団体と協働、学ぶことで、地元の資
源を活用した特色あるものづくりや、地域に
根差した製品開発に貢献することを期待され
ています。



▲ セミナーの様子



▲ 熱心な質疑応答



▲ 交礼会、旭川支部 関山支部長の挨拶


会 員 加 入 状 況

2026年4月1日現在の会員加入状況

会 員 加 入 状 況				
従 業 員 規 模 別 会 員			支 部 会 員 数	
正 会 員	1～9人	48	札 幌	127
	10～19人	77	小 樽	19
	20～29人	51	函 館	12
	30～49人	54	室 蘭	32
	50～99人	55	苫 小 牧	30
	100～199人	21	空 知	22
	200～299人	4	旭 川	31
	300～499人	3	北 見	11
	500～999人	6	帯 広	18
	1000人以上	5	釧 路	22
	会 員 合 計	324		
賛 助 会 員	34			
合 計	358	合 計	324	

<新加入企業紹介>

賛助会員

会 社 名	株式会社 FactBase			—□PR	何卒、よろしく申し上げます。
代 表 者 名	代表取締役 竹内 将高				
所 在 地	〒135-0091 東京都港区台場2丁目3番地1号 トレードピアお台場13F				
TEL	03-5962-1018	FAX	03-5962-1019		
URL	https://fact-base.jp/company				
資本金	25億1118万円	従業員数	262名		
[業 種]	IT・サービス業				
[主生産品]	図面管理システム「ズメーン」				
[許認可等]	—				

技術情報コーナー

道総研 工業試験場 試験研究コーナー

令和8年度における道総研工業試験場の研究開発の概要について

当場は、本道の地域経済をけん引するものづくり産業の振興および食関連産業の発展に貢献するため、ものづくり基盤技術の強化、デジタル技術を活用した省力化・省人化、食品加工を支える生産機械、生産性を向上するシステム開発などの研究課題を設定し、道総研の総合力を活かすとともに、産業界や大学など外部機関と密接な連携を図りながら研究開発および技術支援を推進しています。

令和8年度は、34件（新規10件、継続24件）の研究課題を実施しており、今回は、これらの中から「食料品製造業における検品作業の自動化」「合金材料の耐高温酸化性向上」に関する研究課題の概要を紹介します。この2課題では、技術開発および実用化をともに担っていただける企業の皆様を募集しています。ご関心のある方は、ぜひ道総研工業試験場にお問い合わせください。

課題名：食料品製造業における検品作業自動化に向けた異常検知技術の開発

研究期間：R8～9年度

概要：近年、工業製品の異常検知AI技術は目覚ましい発展を遂げています。一方、食品分野のお弁当の検品作業などでは、工業製品とは異なる判断基準が求められるため、異常検知技術の実用化に向けた課題となっています。例えば、下図のように鮭がご飯の上に多少はみ出しても問題ありませんが、こぶ締めなどのおかずがご飯の上に入ってしまった場合は不良品と判断する必要があります。また、煮物の区画では一種類ずつの煮物が含まれていれば、その配置や重なりは問題になりませんが、煮物の個数に過不足がある場合は不良品と判断する必要があります。

本研究では、このような柔軟な判断基準が求められる検品作業に対応し、少ない学習データ量でも高精度に異常検知が可能なAI技術の開発に取り組みます。



【お弁当の正常配置と異常配置の例】

課題名：合金材料の耐高温酸化性向上を目指した陽極酸化処理プロセスの開発

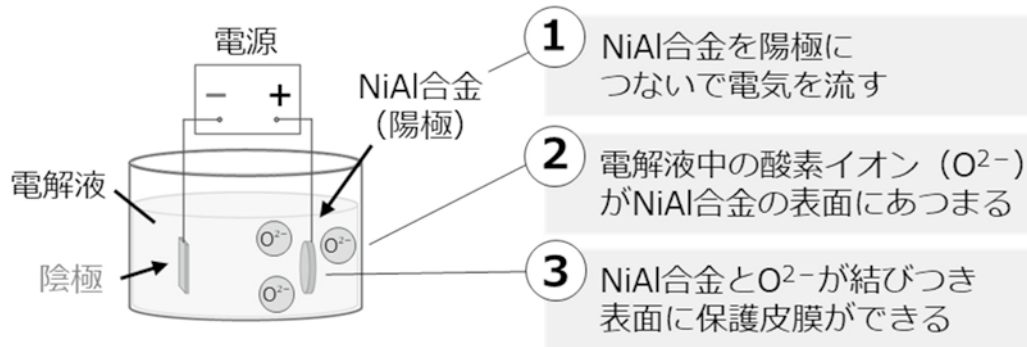
研究期間：R8～9年度

概要：陽極酸化処理とは、電解液中で材料を陽極（プラス側）として通電することにより、表面に酸化皮膜を安価かつ簡便に形成できる表面処理技術です。

NiAl合金は、航空機エンジンのタービンブレードに用いられる熱遮蔽コーティ

ングのボンドコート材料として広く利用されていますが、高温環境下では酸化物の成長によりコーティングの剥離が生じるという課題があります。この対策として、NiAl 合金表面にアルミナ層を形成することが有効とされていますが、従来の手法ではその形成に高価な専用設備を必要とします。

本研究では、これまで適用が困難であった NiAl 合金への陽極酸化処理技術の確立を目指します。陽極酸化処理を用いることで、従来法に比べて低コストかつ簡便に NiAl 合金の表面へ保護性の高いアルミナ層を形成し、酸化物の成長を抑制することで耐高温酸化性能の向上を図ります。



【陽極酸化処理】

令和 8 年度の主な研究課題

研究区分	課題数
戦略研究：戦略研究	1
重点研究：重点研究	2
経常研究：経常研究	1 2
共同研究：一般共同研究	4
公募研究：公募型研究	1 3
奨励研究：職員研究奨励事業	2
合計	3 4

(複数の研究部で担当)
(うち 1 課題他研究本部主管)

産業システム部 (10 課題)

研究区分	課題名	実施年度
戦略研究	人口減少社会における持続可能な道内産業の構築 I 3) - (1) 持続可能な森林関連産業の実現に向けた技術開発 (研究項目：木材産業の省人化技術の検討と加工システムの開発)	R 7 ~ R 1 1
重点研究	選果工程自動化システム開発効率化のための仮想環境・実環境協調開発基盤の構築	R 8 ~ R 1 0
経常研究	屋外における安定した画像認識に向けたロバスト画像補正技術の開発 食料品製造業における検品作業自動化に向けた異常検知技術の開発 任意形状部品を対象とした自在回転治具の開発	R 7 ~ R 8 R 8 ~ R 9 R 8 ~ R 9
共同研究	ブロッコリー選別加工システムの開発 UV 硬化ゴムを用いた機能性多孔質材に関する研究	R 6 ~ R 8 R 7 ~ R 8
公募研究	生体骨模倣多孔質構造による衝撃吸収・耐久性に優れた 3D プリント可能な頭部保護部材の開発 露地野菜の安定供給を支える選別出荷施設省人化のための重量野菜自動整列システムの研究開発 柔軟で長距離の経路配置と大トルクの伝達を両立する回転動力伝達機構	R 6 ~ R 8 R 7 ~ R 9 R 8

材料技術部（17課題）

研究区分	課 題 名	実施年度
経常研究	再生可能資源を利用したプラスチック使用量低減化素材の開発	R 6～R 8
	天然資源の循環利用を目指した珪質頁岩触媒の開発	R 7～R 8
	摩擦熱点接合によるアルミニウム鋳物と鉄鋼材料の接合技術の開発	R 7～R 8
	道産バイオマスフィラーを複合化した熱硬化性樹脂成形材料の開発	R 8～R 9
	多様な調湿ニーズに対応するための材料設計指針の確立	R 8～R 9
	合金材料の耐高温酸化性向上を目指した陽極酸化処理プロセスの開発	R 8～R 9
共同研究	ナノインプリント法を用いた次世代半導体対応サブストレート用微細配線の創製	R 6～R 8
	新規熱硬化性樹脂へのナノインプリント技術の開発	R 7～R 8
公募研究	持続可能な漁業を実現する高付加価値バイオ素材の有効利用	R 5～R 9
	次世代の溶接人材向けステップアップ型技能支援手法の開発と効果の検証	R 6～R 8
	BEV 車体フレームギガキャストの高生産性を実現する高冷却・耐熱疲労金型を主ターゲットとする金属積層造形システムの研究開発	R 6～R 10
	食品中に含まれるプロリン含有ジペプチドの呈味性及び反応機構に関する研究	R 7～R 9
	切断用ダイヤモンド工具の製造条件の最適化と国内製造プロセス確立に向けた研究開発	R 7～R 9
	人工衛星ロケットエンジンへの高積載重量を実現する耐熱・耐熱衝撃性コーティング皮膜の開発	R 7～R 9
奨励研究	空気中レーザー窒化によるステンレス鋼の耐摩耗化プロセスの構築	R 7～R 9
	データ科学を活用した実用的な多元系深共晶溶媒の設計	R 8
	イオン液体を用いた金属表面処理技術の開発	R 8

ヒューマンテクノロジー部（4課題）

研究区分	課 題 名	実施年度
戦略研究	人口減少社会における持続可能な道内産業の構築 I	R 7～R 11
	3) - (1) 持続可能な森林関連産業の実現に向けた技術開発 (研究項目: 造林作業における位置誘導装置の開発)	
経常研究	収穫適期の判断支援技術の開発	R 7～R 8
	生体情報計測によるリアルタイム感情推定手法の開発	R 7～R 8
	低コストな3D遠隔リハビリテーションのための動作情報計測システムの開発	R 8～R 9

新技術創生研究推進室（4課題）

研究区分	課 題 名	実施年度
重点研究	北海道農産物の物流を補強する低温酸化触媒の開発とそれを用いた鮮度保持システムの構築	R 6～R 8
公募研究	新規メカノケミカル法によるセルロース加水分解反応のメカニズムの解明	R 6～R 8
	剪断誘起メカノケミカル法を活用したバイオマス変換系における糖化合物変換挙動の解明	R 7～R 9
	剪断誘起メカノケミカル法を用いた新規バイオマス変換システムによる古紙からの乳酸製造	R 7～R 9

お知らせ

北海道を元気にするため中小企業の「ひとづくり」に貢献します

中小企業大学校旭川校 5～7月開講 おすすめ研修のご案内

No.301

次世代を担うトップリーダーを育てる **おすすめ!**

経営管理者養成コース (第14期)

【研修期間】(インターバル研修: 4日間×6回)

- ① 2026年 7月 7日(火)～7月10日(金)
- ② 2026年 8月 4日(火)～8月 7日(金)
- ③ 2026年 9月 8日(火)～9月11日(金)
- ④ 2026年10月 6日(火)～10月 9日(金)
- ⑤ 2026年11月10日(火)～11月13日(金)
- ⑥ 2026年12月 1日(火)～12月 4日(金)

【対象者】経営幹部、経営後継者、管理者

【受講料】298,000円(税込)

【研修のねらい】

企業活動の中核を担う経営管理者として、質の高い経営を行うための総合的・創造的マネジメント能力の向上を図ることを目的として、実践につながる知識やマネジメント手法を体系的に習得します。

【研修の流れ】

- 第1回: 経営戦略と経営計画・論理的思考
- 第2回: 組織と人事管理・リスクマネジメント
- 第3回: マーケティングの理解とプロセス・ゼミ①
- 第4回: 財務会計・管理会計・自社の財務分析・ゼミ②
- 第5回: 事例研究・ビジネスゲーム・ゼミ③④
- 第6回: ゼミ⑤・成果発表会

“総合的マネジメント能力”をマスター

No.9

事例から学ぶ企業法務と危機管理

法的トラブルを未然に防ぎ、会社を強くする

5月19日(火)～20日(水) 2日間

対象者 経営者、経営幹部、その候補者

受講料 22,000円(税込)

カリキュラム概要

- 中小企業を取り巻く法的環境と最近の動向
- 企業法務の基礎知識とリスクマネジメントの考え方
- リスクマネジメントの実践に向けて

【研修のねらい】

中小企業が直面しやすい法的トラブルを未然に防ぐための企業法務の基礎知識や考え方を習得するとともに、多様で複雑なリスクに対応するための“リスクマネジメントのあり方”について学びます。

ポイント

- ◆ 経営者や経営幹部が知っておくべき企業法務の基礎知識を学びます。
- ◆ 企業経営に必要な「法的なものの見方や考え方」を身につけます。
- ◆ 多様で複雑なリスクに対応するリスクマネジメントのあり方を理解します。

No.12

現場改善リーダー養成講座 **NEW**

コストダウンにつながる課題発見力を磨いて
ムダの無い改善へと導く!

6月2日(火)～4日(木) 3日間

対象者 現場改善リーダー
製造業の管理者、新任管理者

受講料 32,000円(税込)

カリキュラム概要

- 生産活動の基本
- 現場改善の基本的な考え方
- コストダウンにつながる現場改善
- 自社現場での実践的活用(演習)

【研修のねらい】

生産の基本となる5Sの進め方、改善を進める際に身につけておきたいIEの基本など、科学的根拠に基づく分析手法から、成果につながる改善活動を推進するリーダーの役割など、実践的に学びます。

ポイント

- ◆ 現場改善の責任者、リーダーが身につけておきたい手法を幅広く学べます。
- ◆ IEの考え方をを用いて、科学的根拠に基づいた課題発見の方法を習得できます。
- ◆ 演習を通じて実務を身につけ、自社に戻ってすぐに実践できます。

< 研修のご案内 5～6月 > (カリキュラム詳細はホームページをご覧ください)

No. 8 レジリエンス強化研修(札幌開催)	5月13日(水)～5月14日(木)
No.10 企業経営に活かすリスクマネジメント講座(札幌開催)	5月25日(月)～5月26日(火)
No.13 新事業・新商品のためのアイデア発想法(札幌開催)	6月 4日(木)～6月 5日(金)
No.45 会計情報活用講座(札幌開催)	6月 9日(火)
No.15 ハラスメント&メンタルヘルス対策講座(札幌開催)	6月11日(木)～6月12日(金)

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

中小企業大学校旭川校

中小 旭川 検索

お気軽にお問合せ下さい

電話 0166-65-1200

旭川市緑が丘東3条2丁目2-1





生産性向上人材育成支援センターが 企業の人材育成をサポートします！

令和8年春～夏
開催コース

能力開発セミナー（ハートレーニング）

ポリテクセンター北海道及び北海道能開大では、「ものづくり（設計・開発、加工・組立等）」に必要な知識や技術を身に付けていただくための能力開発セミナーを実施しています。

また、研修内容や日程等のご相談により、個別企業等のご要望に応じてオーダーメイドコースとしても実施できます。

2次元CADによる機械設計技術（AutoCAD編）

会場：ポリテクセンター北海道

コース番号	日 程	訓 練 時 間	定 員	受講料
1M102	6月24日(水)、25日(金)、26日(金)	3日間／18時間	10名	12,000円
概 要	機械設計/機械製図の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた構想段階から具体的加工の指示を出すための図面の作図を通して、CADを使用する場合の環境の構築、効果的かつ効率的な使用法及びデータ管理方法について取得します。			

設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術（SolidWorks編）

会場：ポリテクセンター北海道

コース番号	日 程	訓 練 時 間	定 員	受講料
1M105	7月15日(水)、16日(木)、17日(金)	3日間／18時間	10名	15,000円
概 要	製品設計業務における生産性の向上をめざして、効率化、最適化(改善)に向けた「製品(部品)機能＝フィーチャー」と捉えた開発・設計への3次元CAD活用方法、図面の活用および設計検討などの検証方法を習得します。			

半自動アーク溶接技能クリニック

会場：ポリテクセンター北海道

コース番号	日 程	訓 練 時 間	定 員	受講料
1M110	7月21日(火)、22日(水)	2日間／12時間	8名	21,500円
概 要	受講者の技能レベルに合わせながら、炭酸ガス半自動アーク溶接の技能向上をめざします。鋼材における各種姿勢での炭酸ガス半自動アーク溶接について、技術のカンドコロ・コツを学び、実践的な溶接施工と溶接作業の問題解決を探ります。			

生産性向上支援訓練

あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、DX（デジタルトランスフォーメーション）に対応するための人材育成など、中小企業等が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。専門的知見を有する民間機関等に委託して実施しています。このほかにもコースをご用意していますので、詳細につきましてはホームページをご覧ください。

表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化

会場：パソコンスクールパルティス時計台校

コース番号	日 程	訓 練 時 間	定 員	受講料	申込期限
札14	6月18日(木)、19(金)	1日間／6時間	15名	3,300円	5月13日(水)
概 要	表計算ソフトを活用する際、業務効率を向上させるために必要となる定型業務の自動化を実現するためのマクロの作成手法を習得します。				

インターネットマーケティングの活用

会場：ポリテクセンター北海道

コース番号	日 程	訓 練 時 間	定 員	受講料	申込期限
札16	6月30日(火)	1日間／6時間	15名	3,300円	5月25日(月)
概 要	インターネットマーケティングの概要を理解し、インターネット、ソーシャルメディア等を効果的に活用することで、顧客獲得のための施策を検討できる知識を習得します。				



北海道職業能力開発促進センター
(愛称：ポリテクセンター北海道)

住所：札幌市西区二十四軒4条1丁目4番1号

■能力開発セミナーに関すること
訓練第二課：011-640-8823
■生産性向上支援訓練に関すること
生産性センター業務課：011-640-8828

北海道職業能力開発大学校
(愛称：ポリテクカレッジ北海道)

住所：小樽市銭函3丁目190番地
電話：0134-62-3551



事務局日誌

2026年1月～3月分

(役員会・委員会・部会等)

役員会・委員会・部会等	開催日	場 所	概 要
石狩湾新港機械金属工業 協同組合新年交礼会	1月8日	京王プラザホテル札幌	
日本鉄鋼連盟 北海道地区 鉄鋼業界新年賀詞交換会	1月9日	札幌グランドホテル	
札幌鉄工団地組合新年交礼会	1月16日	札幌パークホテル	
合同新年交流会 (機械工業会小樽支部等)	1月17日	小樽市	
検査部会	1月20日～23日	溶接協会	第5回技術講習会
自動車関連部会説明会	1月20日	苫小牧市	「ものづくり人材育成プログラム事前説明会」
サッシ部会新年交礼会	1月22日	JRタワーホテル日航札幌	
鉄骨部会道央支部 新年会	1月27日	おたる亭	
札幌支部設立50周年講演会、 新年交流会	1月30日	ホテルモンテレーデルホフ札幌	
第4回正副会長会議	2月3日	ホテルモンテレーデルホフ札幌	
派遣元との懇談会	2月3日	ホテルモンテレーデルホフ札幌	
令和5年度札幌高等技術専門 学院職業能力開発運営協議会	2月6日	札幌高等技術専門学院	
検査部会	2月9日～19日	溶接協会	第6回技術講習会
鉄骨部会	2月12日	ホテルモンテレーデルホフ札幌	第7回役員会、全構協同面説明会、懇親会
検査・鉄骨部会	2月27日	ホテルモンテレーデルホフ札幌	第46回検査技術研究会・懇親会
北海道中小企業支援センター 理事会	3月3日	経済センタービル	
自動車関連部会	3月6日	TKP札幌駅前カンファレンスセンター	第2回役員会・懇親会
電機電子部会	3月9日～11日	道外視察会	四国地区
鉄骨部会	3月10日	竹原鉄工所	三役会
第3回総務委員会	3月10日	ホテルモンテレーデルホフ札幌	
表面処理部会視察会	3月11日～13日	道外視察会	関西地区
鉄骨部会	3月17日	ホテルモンテレーデルホフ札幌	第8回役員会
鉄骨部会・青年部会	3月17日	ホテルモンテレーデルホフ札幌	FABに特化したDXセミナー、懇親会
第6回正副会長会議	3月18日	ANAクラウンプラザホテル札幌	第6回正副会長会議
理事会	3月18日	ANAクラウンプラザホテル札幌	第3回理事会会議
交流推進委員会	3月18日	ANAクラウンプラザホテル札幌	第1回委員会
受注拡大対策委員会	3月18日	ANAクラウンプラザホテル札幌	第1回委員会
電機電子部会	3月24日	当会事務所ほか	役員会

(会 議 ・ 行 催 事 業 等)

会 議 ・ 行 催 事 業 等	開催日	場 所	主 催 者	概 要
国際宇宙産業展	1月30日	東京ビックサイト		
技術力強化事業成果発表会	2月5日	ジョブキタプラザ		

事務局からのお知らせ

【 退 任 挨拶 】



北海道庁を定年退職後、2021年4月から2026年3月までの5年間、北海道機械工業会でお世話になりました。就任当初は、総会も最小限で開催するなどコロナ禍の真っ只中でした。コロナも収まりを見せる中、少しずつ事業を進めて参りました。今年度は、50周年記念事業にも携わらせていただくなど貴重な経験をさせていただきました。微力ではありますが、会員企業の皆様のお役に立つことが出来たならば幸いです。

しばらくの間は、これまで先送りにしてきた様々なことの整理や孫の面倒を見ながら、カメラなど趣味も楽しみたいと思っております。

最後になりますが、会員の皆様から賜りましたご指導、ご厚誼に対して心より感謝申し上げますとともに、皆様のご発展を祈念いたします。

ありがとうございました。

2026. 3. 31

森 永 泰 三

北海道機械工業会 会員様へお願い

いつも「明日を拓く」をご愛読いただきありがとうございます。
当会では、ホームページで会員の皆様の情報を掲載させていただいております。
住所変更や組織変更等で情報に変更がございましたら、ご連絡いただきます様
お願い致します。

変更は、FAX もしくは E-mail で随時お受付しております。

【連絡先】

(一社) 北海道機械工業会

F A X : 011-251-4387 TEL : 011-221-3375

E-mail : hmma@h-kogyokai.or.jp

登録事項変更届

会社名 _____

☆変更された情報のみご記入ください。

代表者 _____

住 所 _____

電話番号 _____

F A X _____

E-mail _____

U R L _____

営業窓口担当 _____

従業員数 _____

その他 _____

あ と が き

長い冬が終わり、道内各地でも春の訪れとともに新年度の動きが本格化してきました。今号では、金属などのリサイクル事業を通して、循環型社会の実現を図る(株)鈴木商会様の取組みをご紹介します。取材を通して印象的だったのは、これまで不用品とされていたものが貴重な資源になるという点です。周りを海で囲まれ、資源に恵まれているわけではない日本において、GXの実現に向けて資源の再利用は避けては通れないものと感じました。

今年度も本会報誌が、会員の皆さま同士のヒントや気づきにつながり、自社の取り組みを振り返るきっかけとなれば幸いです。また、記事へのご意見や今後取り上げてほしいテーマなどがありましたら、事務局までぜひお寄せください。

記：K.U

◎北海道機械工業会 ホームページアドレス

<https://h-kogyokai.or.jp>



◎北海道機械工業会 Eメールアドレス一覧

アドレス	使用者及び担当業務
n-yasuda@h-kogyokai.or.jp	安田専務(統括)
h-nakai@h-kogyokai.or.jp	中井(自動車関連部会、検査部会、表面処理部会、交流推進委員会)
k-ueda@h-kogyokai.or.jp	上田(機械製缶部会、電機電子部会、サッシ部会、受注拡大対策委員会、各支部、会報誌)
r-sugiura@h-kogyokai.or.jp	杉浦
m-suzuki@h-kogyokai.or.jp	鈴木(経理)
mail16@h-kogyokai.or.jp	寺本(鉄骨部会)
hmma@h-kogyokai.or.jp	代表アドレス

◎北海道機械工業会 企業間連携推進室

アドレス	使用者及び担当業務
k-iida@h-kogyokai.or.jp	飯田(企業間連携マネージャー、自動車関連部会)

(一社)北海道機械工業会

会 報

2026 VOL.52 No. 2 (273号)

発行日 令和8年5月

発行所 (一社)北海道機械工業会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目3-2 北一条大和田ビル4階

電 話 011-221-3375

F A X 011-251-4387

編集者 (一社)北海道機械工業会事務局

印刷 (株)千修アイテム

令和8年3月分(4月納付分)からの 協会けんぽの保険料率についてお知らせします

健康保険料率

現行 \rightarrow 令和8年3月分～
10.31% \rightarrow **10.28%**

介護保険料率

現行 \rightarrow 令和8年3月分～
1.59% \rightarrow **1.62%**

子ども・子育て支援金率

令和8年4月分より新たにスタート
0.23%

- ※ 令和8年4月分(5月納付分)より子ども・子育て支援金制度が始まります。
- ※ 健康保険料、介護保険料、子ども・子育て支援金は労使折半となります。
- ※ 40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)には、健康保険料率と子ども・子育て支援金率に介護保険料率が加わります。
- ※ 賞与については、支給日が3月1日分から変更後の保険料率が適用されます。

各都道府県の健康保険料率は、地域の医療費等に基づいて算出されます。健康診断を受診し健康状態を把握することで、病気の早期発見・早期治療に繋がり医療費の上昇を抑えることができます。ぜひ従業員の皆さまに協会けんぽの生活習慣病予防健診の受診を勧めていただき、日々の健康づくりに取組みましょう！

令和8年度も 協会けんぽの「生活習慣病予防健診」をご利用ください！【対象者：35歳～74歳の被保険者】

費用

総額
19,635円
のところ…

自己負担額

最高

5,500円

内容

血液検査や尿検査などの一般的な検査

+

胃・大腸・肺のがん検診

35～39歳の方は、
胃・大腸のがん検診
を省略できます。

New 令和8年4月スタート！協会けんぽの健診がさらに「手厚く・新しく」になりました！

- ✓ 35歳以上の方は人間ドック健診に最高25,000円の補助！
- ✓ 35歳以上の方に加え20、25、30歳の方も生活習慣病予防健診の対象に！
- ✓ 40歳以上の女性に骨粗しょう症検診を開始！



詳しくは
コチラ▼



NEW!

bZ4X
TOURING

bZ4X



BEVも、PHEVも。走りは妥協しない。

電動化の未来を切り拓くbZ4X。
 電動とパワーを融合したRAV4 PHEV。
 異なるアプローチが、SUVの可能性を押し上げる。
 まずは試乗で、その進化を体感してください。



RAV4

新型試乗車 多数ご用意! | 24時間 いつでも予約受付! | 最新のトヨタ車に 気軽に試乗! | 最短で翌日に 即時試乗!

いつでも♪ どこでも♪ **気軽に試乗予約!!**



乗りたいときに
すぐWEBから!

試乗予約は
こちらから!!



札幌トヨタ オリジナル

「さっぼるとよワン」

第3弾!

LINEスタンプ

“春夏”の新作できました!



簡単ステップですぐ使える!! /
スタンプはこちらから!!



札幌トヨタ

お客様相談電話番号 ☎0120-030040

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目3-8

「札幌トヨタ」で
検索ワン!



札幌トヨタ 検索



中古車在庫
かんたん
検索



YouTube
チャンネル



Instagram
公式
アカウント



LINE
公式
アカウント



札幌市内近郊店舗

特販部 ☎011-231-9711
 札幌支店 ☎011-261-3211
 札幌支店サービスセンター ☎011-299-6311
 南5条店 ☎011-533-6311
 東苗穂店 ☎011-783-2811
 月寒支店 ☎011-851-6121
 東札幌店 ☎011-823-2311
 大曲店 ☎011-377-5611

恵庭店 ☎0123-32-3171
 琴似支店 ☎011-621-1111
 西野店 ☎011-665-3111
 八軒店 ☎011-641-6511
 手稲店 ☎011-683-4111
 北光支店 ☎011-711-7191
 新道店 ☎011-784-7211
 新琴似店 ☎011-763-8811

石狩店 ☎0133-74-3201
 白石支店 ☎011-864-1171
 北郷店 ☎011-875-3111
 厚別店 ☎011-898-1111
 千歳店 ☎0123-26-3345
 藻岩店 ☎011-581-3151
 江別店 ☎011-382-2114

苫小牧市
室蘭小樽
苫小牧支店

室蘭支店 ☎0143-43-1111
 伊達店 ☎0142-23-4334
 小樽支店 ☎0134-23-5211
 余市店 ☎0135-23-8581
 岩内店 ☎0135-62-2626
 倶知安店 ☎0136-23-3111
 苫小牧支店 ☎0144-84-3333

岩見沢支店 ☎0126-22-3181
 滝川店 ☎0125-22-2116

中古車取り扱い店舗

宮の沢店 ☎011-669-1111
 T-ZONE南郷店 ☎011-864-4711
 室蘭中古車課 ☎0143-43-1111
 苫小牧中古車課 ☎0144-84-3333